

農地中間管理機構関連農地整備事業
県営土地改良事業変更計画書

やはたきた
八幡北地区

第 1 章 目 的	1	1. 道路概況	12
第 2 章 地域及び地積	2	2. 主要道路一覧表	12
第 1 節 地 域	2	第 5 節 地域農業の概況	14
第 2 節 地 積	2	1. 産業別就業人口	14
第 3 章 現 況	3	2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の 分散状況並びに専兼業別農家数	14
第 1 節 気象及び海象	3	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	14
1. 一般気象	3	4. 主要作物作付状況	15
2. 特殊気象	3	5. 農業の動向	15
3. 海 象 (該当なし)	3	第 6 節 地域環境の概況	16
第 2 節 土地状況	4	第 4 章 一般計画	17
1. 地形、土壌及び浸食の程度	4	第 1 節 事業計画の要旨	17
2. 土地分類 (該当なし)	4	1. 要 旨	17
3. 土地利用の状況	5	2. 事業別面積	17
4. 土地所有の状況	5	第 2 節 営農計画及び土地利用計画	18
第 3 節 水利状況	6	1. 営農計画の概要	18
1. 用水状況	6	2. 土地利用区分	18
2. 排水状況	9	3. 作付方式	19
3. 河川状況	12	4. 生産計画	20
第 4 節 道路現況	12		

5. 労働改善計画	20	第7節 洪水調節計画 (該当なし)	34
6. 級地別土地利用区分 (該当なし)	20	第8節 干拓計画 (該当なし)	34
7. 土地配分計画 (該当なし)	20	第9節 農用地整備計画	35
第3節 用水計画	21	1. 区画整理	35
1. 計画基準年	21	2. 暗渠排水 (該当なし)	36
2. 計画かんがい方式	21	3. 客土 (該当なし)	36
3. 計画用水系統	21	4. 農地保全 (該当なし)	36
4. 計画用水量	23	第10節 老朽ため池改修計画 (該当なし)	36
5. 水源計画	24	第5章 主要工事計画	37
第4節 排水計画	27	第1節 用水施設	37
1. 計画基準雨量	27	1. 貯水池 (該当なし)	37
2. 計画排水方式	27	2. 頭首工 (該当なし)	37
3. 計画排水系統	27	3. 揚水機	37
4. 計画排水量	29	4. 用水路	38
5. 排水対策	29	5. その他かんがい施設 (該当なし)	39
6. 湛水検討 (該当なし)	31	第2節 排水施設	40
第5節 道路計画	32	1. 排水水門 (該当なし)	40
1. 道路及び索道	32	2. 排水機 (該当なし)	40
2. 路線配置図	32	3. 排水路	41
第6節 農用地造成計画 (該当なし)	34	4. その他排水施設 (該当なし)	42

第 3 節	道路及び索道	43
1.	道 路	43
2.	索 道 (該当なし)	44
第 4 節	農用地造成 (該当なし)	44
第 5 節	洪水調節施設 (該当なし)	44
第 6 節	干拓施設 (該当なし)	44
第 7 節	農用地整備施設	45
1.	区画整理	45
2.	暗渠排水 (該当なし)	45
3.	客 土 (該当なし)	46
4.	除 礫 (該当なし)	46
5.	農地保全 (該当なし)	46
第 8 節	老朽ため池改修施設 (該当なし)	46
第 6 章	附帯工事計画 (該当なし)	47
第 7 章	工事の着手及び完了の予定時期	47
第 8 章	環境との調和への配慮	48
第 9 章	換地計画の概要	49
第 1 節	換地計画を作成する上での 基本的な考え方	49
第 2 節	換地区の設定	49

1.	換地区の名称、所在、面積	49
2.	換地区を設定する理由 (該当なし)	49
第 3 節	換地計画樹立の基本方針	49
1.	従前の土地の地積の基準	49
2.	用途別予定地積	50
3.	農用地集団化の方針	50
4.	非農用地換地の方法	51
第 4 節	土地の評価及び清算の方法	52
1.	評価の方法	52
2.	清算の方法	52
第 5 節	換地計画樹立の年度計画	52
第 6 節	換地処分の特則に関する特則	53
第 10 章	事業費の総額及び内訳	55
第 11 章	効 用	56
第 12 章	関連する事業 (該当なし)	56
第 13 章	現況・計画図面	56
1.	現況平面図	56
2.	計画平面図及び土地利用計画図	56
3.	主要構造図	56

参考資料

面積増減図

道路延長増減図

用水路延長増減図

排水路延長増減図

第 1 章 目 的

南あわじ市では恵まれた地理条件と気候条件に加え、高度な農業技術を生かして同じ土地で年3回農作物を栽培する三毛作が営まれており、特産として玉ねぎ、レタスやキャベツなどの生鮮野菜は大型消費地である京阪神に即日出荷されており、野菜の供給源として大きな役割を担っている。

本地区は市内でも農業の盛んな地区であるが、個人による投資や農地の高い稼働率、水利権などの問題を背景に基盤整備が未着手である。更に農産物価格の低迷や農家での主となる労働者の高齢化が進んでおり、ほ場整備による担い手の整備が緊急の課題となっている。このような中、当地区では農地中間管理機構への農地の貸付け希望が増加しているが、その際、基盤整備が十分に行われていない農地については、担い手が借り受けにくいおそれがある。

よって、この様な状況に対応する為、未整備地20.4haに対しほ場整備及び道路、用排水路を整備し、田畑輪換営農体系に適した汎用耕地化を図り、水稻-野菜の輪換作業体系を確立し、より収益性の高い作物での営農を可能とするとともに、中型機械の導入により労働力の軽減を図り、農地中間管理機構を通じて農用地の集団化を促進するため八幡北地区について農地中間管理機構関連農地整備事業を計画するものである。

第 2 章 地 域 及 び 地 積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
農地中間管理機構関連 農地整備事業	南あわじ市賀集八幡北

第2節 地 積

(令和6年 3月現在)

(第2表)

事 業 名	現況地目	種目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名								
農地中間管理機構関連農地整備 事業	南あわじ市	区画整理	18.7	0.2	-	-	1.5	20.4	

第 3 章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一 般 気 象

(第3表-1)

観測所名	南淡	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	昭和56年～令和2年	6月～9月	10月～5月		
平均気温 (°C)		25.2 °C	11.7 °C	18.5 °C	
降水量	平均 (mm)	592.0 mm	640.7 mm	1,232.7 mm	
	基準年 (mm)	343.0 mm	396.0 mm	739.0	基準年: 平成20年
降水日数	平均 (日)	37 日	64 日	101 日	
	基準年 (日)	26 日	52 日	78	基準年: 平成20年
根雪期間	該当なし				
無霜期間	— 年 — 日 ~ — 年 — 日				
最多風向	南南東(最大17.8m/s)	西北西(最大15.0m/s)		西北西	最多風向発生時期 12月 ~ 2月 最大風速発生年月日 平成30年8月23日

2. 特 殊 気 象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
南淡測候所	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
観測期間	2004年～2020年															
最大日雨量	(mm)	256.0	平成23年9月20日	/	248.0	平成16年10月20日	/	243.5	平成25年9月15日	/	186.0	平成26年8月2日	/	185.0	平成27年7月17日	/
最大時間雨量	(mm)	63.0	平成16年8月17日	/	57.0	平成16年9月24日	/	56.0	令和2年7月25日	/	53.0	平成30年9月4日	/	53.0	平成28年9月20日	/
最大4時間雨量	(mm)	-	-	/	-	-	/	-	-	/	-	-	/	-	-	/
最大連続雨量	(mm)	400.0	平成2年9月14日～9月20日	-	396.0	平成23年9月16日～9月21日	-	323.5	平成26年8月1日～8月6日	-	315.0	平成25年9月15日～9月16日	-	303.0	平成16年10月19日～10月20日	-
最大連続干天日数	(日)	47	昭和56年7月13日～8月28日	-	46	平成19年11月6日～12月21日	-	41	平成10年7月28日～9月6日	-	41	平成17年7月11日～8月20日	-	41	平成22年8月13日～9月22日	-

3. 海 象

該当なし

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高 (m)		備考	
		傾斜区分	1/1,000	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高		最低
			以下								8°～10°	10°～15°	8°～15°						
農地中間管理機構関連農地整備事業	面積(ha)	-	15.8	2.8	0.1	-	18.7	-	0.2	-	-	-	-	-	0.2	10	6	平均傾斜 1/33	
	比率(%)	0	84	15	1	0	100	0	100	0	0	0	0	0	100				

(第4表-1-2)

項目	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)		備 考 (土 壤 番 号)	
	土 壤 断 面								堆積様式	母 材		事 業 名
	色	腐 植	礫層	酸 化 沈殿物	土 性			泥 炭 層 黒 泥 層 及びグライ層				農地中間管理機構関連農地整備事業
					表 土	下 層 土						
土壤統(区)名					一 層	二 層	三 層					
灰色土壌 壤土型	にぶい黄色	2%未満	なし	2%以下	SiL	SCL	SL	沖積		9.0	F52	
灰色土壌 壤土マンガン型	黄灰色	2～5%	なし	2～5%	SiCL	SiCL	SiCL	〃		0.9	F53	
灰色土壌 砂土型	灰黄色	なし	なし	2～5%	SiL	SiL	LS	〃		8.4	F54	
灰色土壌 礫質土壌 砂土頭層型	灰黄色	なし	なし	2～5%	SiL	SiL	LS	〃		0.6	K94	
										18.9		

2. 土地分類

該当なし

3. 土地利用の状況

(令和6年12月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採 草 地 放 牧 地	原 野	そ の 他	計	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 の 樹 園 地 (ha)	用 材 林 (ha)	薪 炭 林 (ha)					
農地中間管理機構関連農地整備事業	南あわじ市	18.7	0.2									1.5	20.4	

4. 土地所有の状況

(令和6年12月現在) (第4表-4)

事業名	所有別 区分	個人所有	国 有	県 有	市 有	そ の 他	計	備 考
		農地中間管理機構関連農地整備事業	面 積 (ha)	19.3			1.1	
	受 益 者 数 (人)	39					39	
	筆 数 (筆)							
	権 利 関 係	所有権・耕作権			所有権			
	備 考 (関係受益者数)	(39戸)					(39戸)	

第3節 水利状況

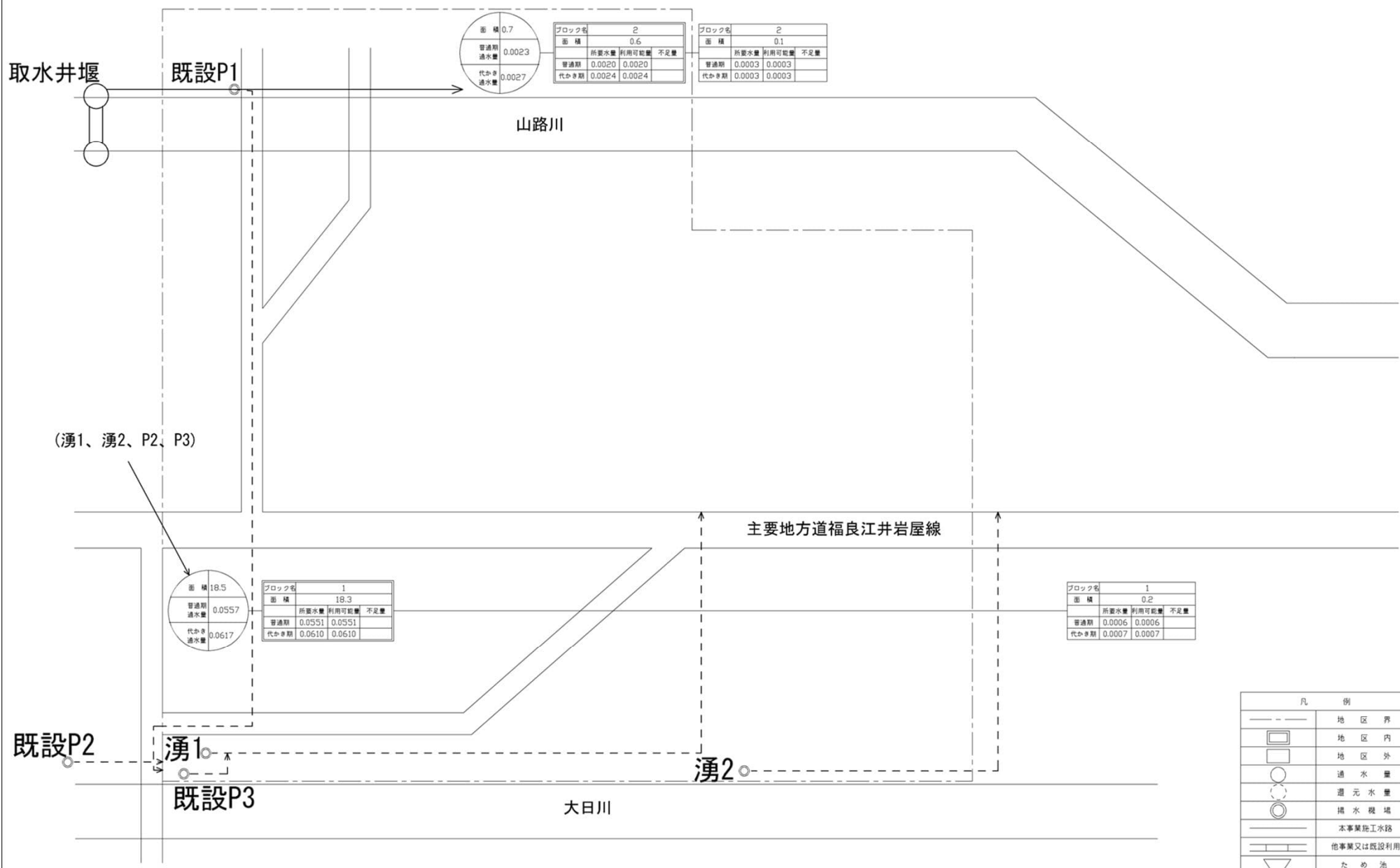
1. 用水状況

本地区は、湧水および2級指定河川山路川に用水源を求めている。地区内の水路はほとんど用排兼用水路で、一部は田越しかんがいを行っている所もある。用水系統は依然として複雑な利水を行っている。

(1) 用水系統

現況用水系統模式図参照

現況用水系統模式図



面積	0.7
普通期 過水量	0.0023
代かき 過水量	0.0027

ブロック名	2		
面積	0.6		
所要水量	利用可能量	不足量	
普通期	0.0020	0.0020	
代かき期	0.0024	0.0024	

ブロック名	2		
面積	0.1		
所要水量	利用可能量	不足量	
普通期	0.0003	0.0003	
代かき期	0.0003	0.0003	

面積	18.5
普通期 過水量	0.0557
代かき 過水量	0.0617

ブロック名	1		
面積	18.3		
所要水量	利用可能量	不足量	
普通期	0.0551	0.0551	
代かき期	0.0610	0.0610	

ブロック名	1		
面積	0.2		
所要水量	利用可能量	不足量	
普通期	0.0006	0.0006	
代かき期	0.0007	0.0007	

凡 例	
---	地 区 界
□	地 区 内
□	地 区 外
○	過 水 量
○	遺 元 水 量
○	構 水 礎 場
---	本事業施工水路
---	他事業又は既設利用
▽	た め 池

(2) 用水施設

(7) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		500ha以上		500～100ha		100ha未満		箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
農地中間管理機構関連農地整備事業	貯水池														
	井堰					1	0.6	1	0.6	-	-	1	0.0024	-	
	自然取入口														
	揚水機														
	その他					2	18.3	2	18.3	-	-	2	0.0610	-	
	計					3	18.9	3	18.9			3	0.0634		

(4) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農地中間管理機構関連農地整備事業	貯水池							
	井堰							
	自然取入口							
	揚水機							
	用水路	1	18.9	コンクリート水路	4,742 m	不明	区画整理による水路法線変更及び水の有効利用の為。	用排兼用
	その他							
	計	1	18.9		4,742.0 m			

(3) 用水に関する被害状況

該当なし

(4) ため池決壊等の場合の想定被害状況

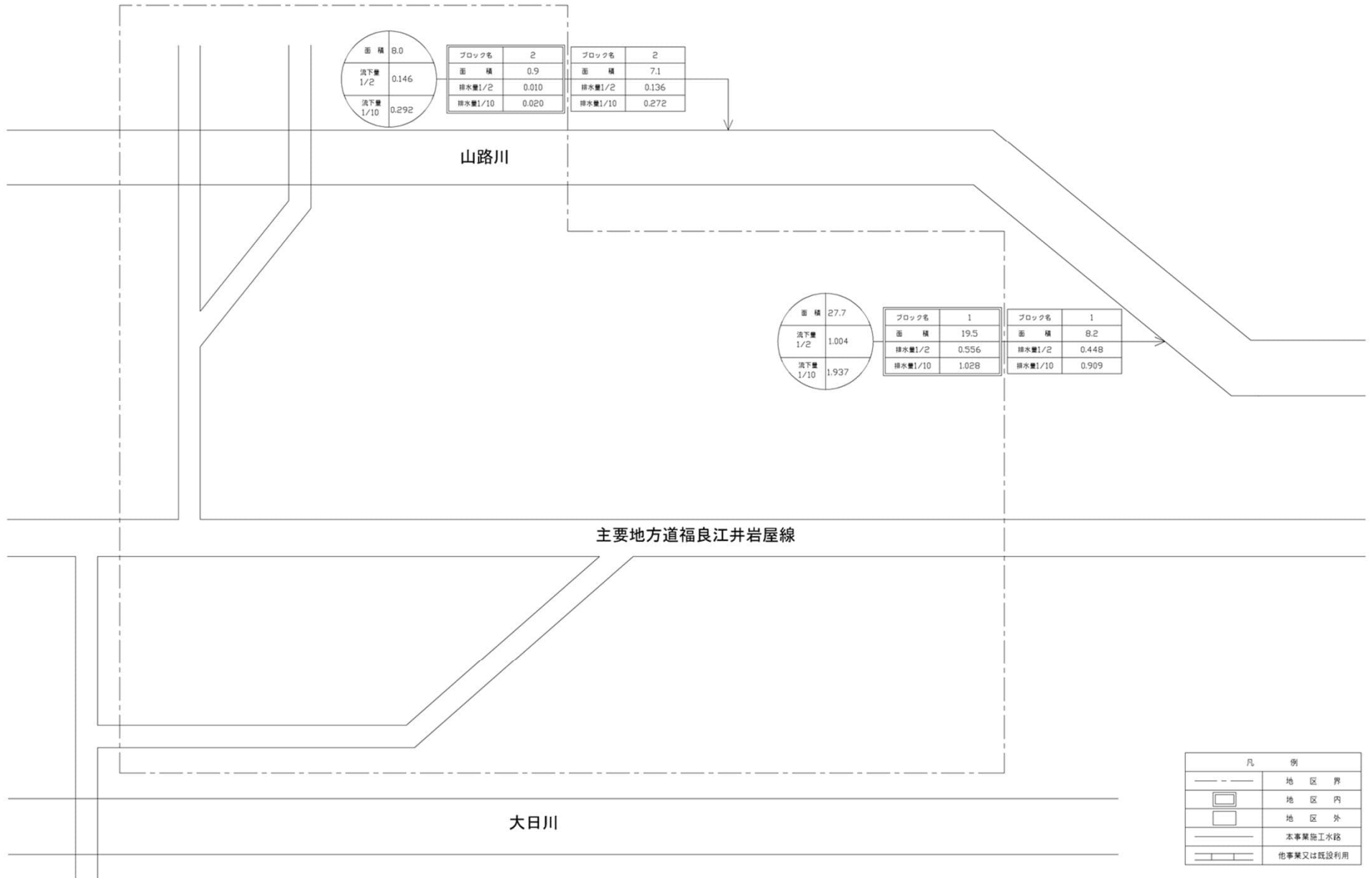
該当なし

2. 排水状況

(1) 排水系統

現況排水系統模式図参照

現況排水系統模式図



(2) 排水施設

(7) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計	排水慣行 (m ³ /s)	現況排水能力 (m ³ /s)	備考	
			500ha以上		500~100ha		100ha未満						
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
農地中間管理機構関連農地整備事業	自然	排水路					2	20.4	2	20.4	河川へ自然排水	3.84	
		水門											
	機械	排水機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
計						2	20.4	2	20.4				

(1) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模 (m)	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名								
農地中間管理機構関連農地整備事業	自然	排水路	1	18.9	コンクリート水路	4,742	不明	区画整理による水路法線変更と用排分離のため	用排兼用
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
計		1	18.9		4,742				

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

3. 河川状況

(1) 河川状況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m ³ /s)	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備考
山路川	コンクリート ブロック護岸	1/300	整形	75		二級河川

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

第4節 道路現況

1. 道路概況

現況道路配置図参照

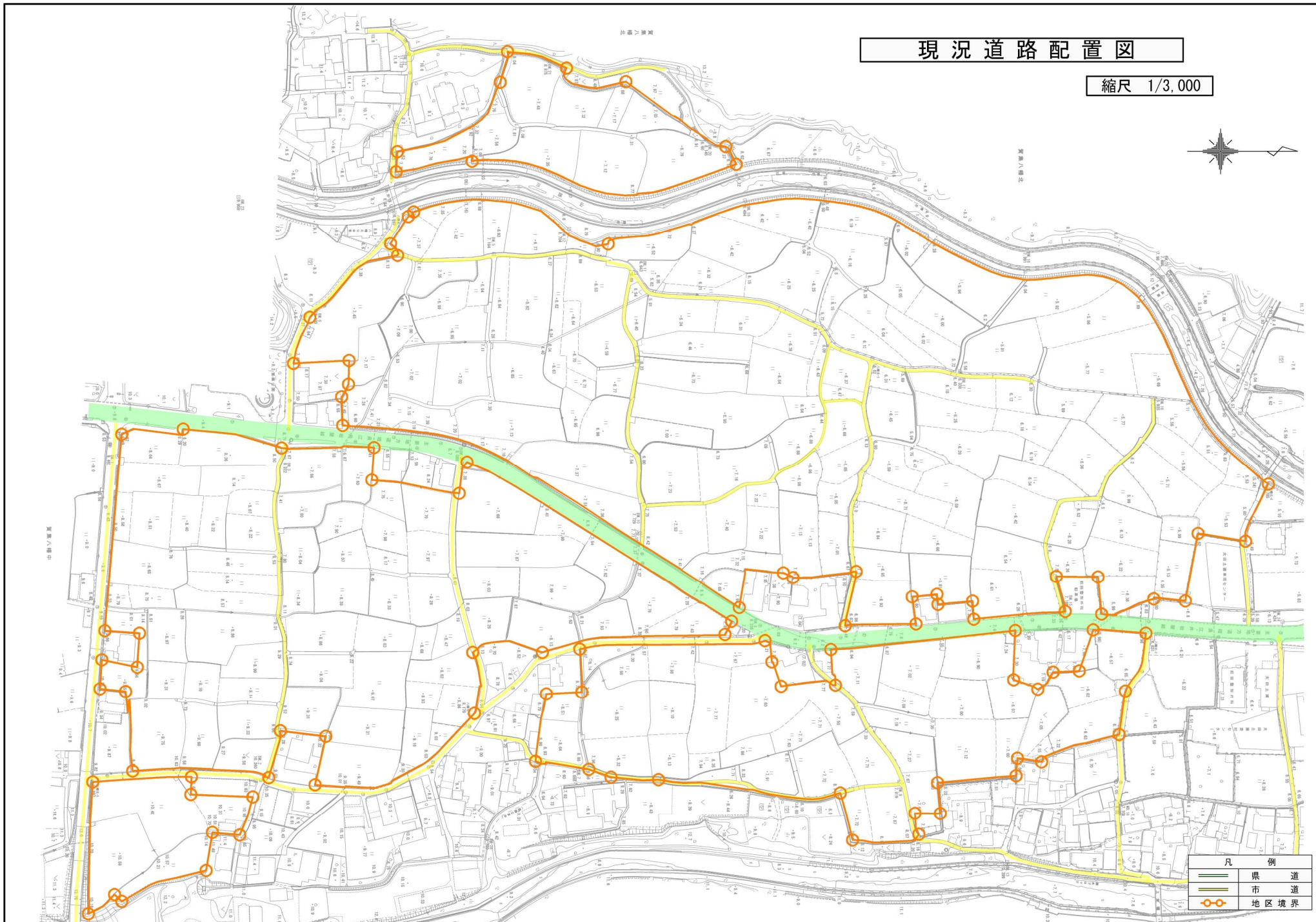
2. 主要道路一覧表

(第6表)

NO	路線名	管理区分別	延長 (m)	幅員 (m)		構造	改修の要否	備考
				全幅	有効			
	市道	南あわじ市	2,203	5.0	4.0	アスファルト舗装	否	
	県道31号	兵庫県	1,200	10.0	9.0	アスファルト舗装	否	
計			3,403					

現況道路配置図

縮尺 1/3,000



第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運 輸 通信業	卸売小売 業飲食業	金 融 保険業	不動産業	サービス業	公 務	その他	備 考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
南あわじ市	25,389	5,550	11	455	3	1,704	3,966	82	876	3,556	408	170	7,485	637	486	
比率(%)	100	22	0	2	0	7	16	0	3	14	2	1	29	2	2	

平成27年国勢調査より

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経 営 耕 地 広 狭 別 農 家 数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積(ha)					耕地の分散状況		専業別農家数(戸)		備 考			
		例外規定 の適用を 受ける もの	0.3 未満	0.3 }	0.5 }	1.0 }	1.5 }	2.0 }	3.0 }	5.0 }	10.0 }	20.0 }	自給的農 家 ha 以上	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	一 戸 当 たり 団 地 数 (戸)	団 地 当 たり 面 積 (ha)		専 業	兼 業	
			0.5 1.0	1.5 2.0	3.0 5.0	10.0 20.0	第1種	第2種																	
南あわじ市	4,108	23	49	494	1,704	796	229	107	28	6	2	1	669	0.91	0.09	0.41	1.41	0.23	1.64	5	0.2	1,183	726	1,530	
比率(%)	100.0	0.6	1.2	12.0	41.5	19.4	5.6	2.6	0.7	0.1	0.0	0.0	16.3	55.5	5.5	25.0	—	14.0	100.0	—	—	28.8	17.7	37.2	

2015年農林業センサス

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動 力 農 機 具						主 要 家 畜										備 考
	田 植 機		ト ラ ク タ ー		コ ン バ イ ン		乳 用 牛		肉 用 牛		豚		採 卵 鶏		ブ ロ イ ラ ー		
	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(台)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(頭)	戸数(戸)	数量(羽)	戸数(戸)	数量(羽)	戸数(戸)	
南あわじ市	3,478	2,783	2,322	2,316	1,955	1,940	3,423	118	×	277	×	2	×	1	×	2	" × "は秘密保護上統計数値を公表としないもの
100戸当たり 数量(台、頭)	101		68		57		100		-		-		-		-		
利用戸数 割合(%)	81		67		56		3		8		0		0		0		

2015年農林業センサス

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名		南あわじ市		計	平均	作 付 率 (%)	備 考	
総 耕 地 面 積 (ha)		3,468		3,468				
総 本 地 面 積 (ha)								
区 分	作 物 名	作 付 面 積 (ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)	作 付 面 積 (ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)			
田	表 作	水 稻	1,885	509	1,885	509	54	
	裏 作	野 菜 類	1,342	5,500	1,342	5,500	39	たまねぎ
		そ の 他	-	-	-	-	-	-
	小 計		3,227		3,227	-	93	
畑	春 夏 作	野 菜 類	42	6,552	42	6,552	1	キャベツ・レタス等
	秋 冬 作	野 菜 類	42	12,723	42	12,723	1	はくさい・レタス等
	小 計		84		84		2	
樹 園 地	果 樹		42	858	42	858	1	
	そ の 他		0	0	0	0	0	
	小 計		42		42		1	
計		3,353		3,353		97		
市 町 村 別 延 べ 作 付 率 (%)		97		97				

2015年農林業センサス

5. 農 業 の 動 向

(第7表-5)

項目	農 家		土 地		主 要 作 物		大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考		
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A			農機具名	B
変化の状況 (C年を100とする指数)	総農家数	94	85	耕地	99	96	水 稻	99	89	乳用牛	68	49	田植機	88	69	A:平成27年 B:平成22年 C:平成17年
	専業農家数	118	129	田	98	95	ばれいしょ	50	20	肉用牛	90	-	トラクター	95	84	
	第一種兼業農家数	70	62	畑	127	132	大豆	48	37				コンバイン	85	72	
	第二種兼業農家数	92	77	樹園地	115	90										
	農業従事者数	89	76													
変化の理由	小規模農家への農業離れおよび他産業への流出により、農家数が減少している。一方、規模拡大等を踏まえた専業志向により、専業農家が増加している。		樹園地の減少は、農業従事者の高齢化及び後継者不足に伴い、樹園地管理が困難になるケースが多いためと考えられる。農家数が減少する一方で畑地面積が増加しているのは、野菜指定産地化による、たまねぎ、レタス等の畑地栽培が盛んになった影響を受けたものと思われる。		耕地面積の減少や転作に伴い、水稲が減少した。土地改良事業の実施に伴う農地の汎用化、野菜指定産地等により地域に適合した作物の作付けが図られている。 ※ たまねぎについては、統計数値に作付面積がなくなったため掲載できなかった。		後継者不足等により各家畜とも減少傾向にある。また家畜の種別により、飼育環境や輸入等の影響を受け、減少の割合は大きくなる。 ※ 肉用牛については、統計の飼養頭数数値が無かったため掲載できなかった。			動力農機具の所有台数は、農家の減少割合と概ね同じ傾向で減少しており、共同利用などの影響もあり減少している。農作業の機械化は概ね完了している。						

2015年農林業センサス

第6節 地域環境の概況

本地域が位置する南あわじ市は、兵庫県の南端部に位置する淡路島の南西部に位置し、南に鳴門海峡、西に白砂青松の慶野松原、中心に温暖な三原平野が広がり、人形浄瑠璃に代表される歴史と文化の豊かなまちである。

本市南淡地区では、地形や水系といった環境構造を保全することが基本であり、「山地・扇状地」や「台地」ではダム・ため池・湧水・古井戸・谷筋、「下流域」では排水路・クリークを貴重な水資源として保全していくことが今後の課題である。

本地区の水田及び周辺水路には、貴重な魚介類(ミナミメダカ、ドジョウ等)が生息しており、環境保全として重要な役割を果たしている。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要旨

近年、農業を取りまく情勢は極めて厳しいものがあり、農家の殆どが兼業の形で農業経営に当たっているが、働き手の高齢化による労働力不足が深刻化し、農業機械設備に過剰な投資を行う不経済性に加え、耕作放棄田の増加に拍車がかかっている。

農業の生産性向上、効率的な安定的な経営の確立を得る為に当事業を実施し、区画形質の改善、用排水路、道路等の総合的な整備、点在耕地の集団化等を図り、近代的な高性能農業機械を利用することにより、生産性の高い農業を展開する。

更に、省力化によって生ずる余剰労働力を活用して、米作偏重農業からの脱却に努め、農地の利用増進と集落営農にも積極的に取組み、新しい農業構造を構築し、多様化する食糧需要に対応すべく経営体を整える。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分	農地中間管理機構関連農地整備事業					備考
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	計	
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
区画整理	16.9	0.3	-	-	17.2	
計	16.9	0.3	-	-	17.2	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

農業の競争力を強化するための方策として、温暖な気象条件と交通網の整備による近郊化など有利な立地条件を生かしながら、農業の高付加価値化に取り組む農業経営を育成するために、次の事項を基本とした。

1)生産基盤の整備

農業の高付加価値化を高めるための農地・農業水利施設の整備や中型機械体系の導入、畝止め擁壁を使った農道ターンなどによる耕地利用率の向上(作付率173%)により生産性の高い農業を育成する。

2)農地の流動化促進と担い手農家の育成

農地の流動化により、担い手農家への農地集積・集約化(集積率90.7%、集団化率80.8%)を行い、農業経営の規模拡大を図る。

3)生産者組織の育成、強化

生産技術の向上と良品質安定生産、さらに計画的な出荷を進めるため生産者組織の育成、強化を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用 区分	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	原野	山林	その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農地中間管理 機構関連農地 整備事業	現況	18.7	0.2					18.9			1.5	20.4	
	計画	16.9	0.3					17.2			3.2	20.4	

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考	
	土地利用区分	作物名	現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当たり収量増加		
農地中間管理機構関連農地整備事業	水田	表作	水稻	8.1	7.3	△ 0.8	46	45	505	515	10	40.9	37.6	△ 3.3	△ 4.0	0.7	水管理改良
			牧草	0.9	2.2	1.3	5	14	5,890	5,890		53.0	129.6	76.6	76.6		作付増
		裏作	レタス	4.8	7.9	3.1	27	49	2,395	2,395		115.0	189.2	74.2	74.2		作付増
			たまねぎ	7.1	7.6	0.5	40	47	5,772	5,772		409.8	438.7	28.9	28.9		作付増
			キャベツ	1.2	2.4	1.2	7	15	3,921	3,921		47.1	94.1	47.0	47.0		作付増
			牧草	0.4	0.4		2	2	5,890	5,890		23.6	23.6				作付増
	普通畑	春夏作	牧草	0.1	0.3	0.2	100	100	5,890	5,890		5.9	17.7	11.8	11.8		作付増
		秋冬作	牧草	0.1	0.3	0.2	100	100	5,890	5,890		5.9	17.7	11.8	11.8		作付増
	計			22.7	28.4	5.7	101	133				701.2	948.2	247.0	246.3	0.7	

↑ 整地面積を分母として算出 ※経済効果の作付率(水張面積を分母とする)とは数値が異なる。

5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目		作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)			備考	
	土地利用区分	輪換田及び畑			区分	現況	計画		増減
					人	機械	力		力
農地中間管理機構関連農地整備事業		輪換田及び畑	水稻	7.3	人		30.0	15.1	△ 14.9
					機械		18.0	6.6	△ 11.4
			たまねぎ	7.6	人		194.5	103.6	△ 90.9
					機械		51.0	12.4	△ 38.6
			レタス	7.9	人		210.8	149.1	△ 61.7
					機械		26.4	5.7	△ 20.7
			キャベツ	2.4	人		138.5	101.5	△ 37.0
					機械		27.0	9.5	△ 17.5
			牧草 (水田・表作)	2.2	人		7.5	2.6	△ 4.9
					機械		7.0	2.2	△ 4.8
			牧草 (水田・裏作)	0.4	人		7.5	2.6	△ 4.9
					機械		7.0	2.2	△ 4.8
			牧草 (畑・表作)	0.3	人		7.5	2.6	△ 4.9
					機械		7.0	2.2	△ 4.8
牧草 (畑・裏作)	0.3	人		7.5	2.6	△ 4.9			
		機械		7.0	2.2	△ 4.8			
計			28.4						

6. 級地別土地利用区分

該当なし

7. 土地配分計画

該当なし

第3節 用水計画

1. 計画基準年

平成17年 (有効雨量 1/10、連続干天日数 1/10)

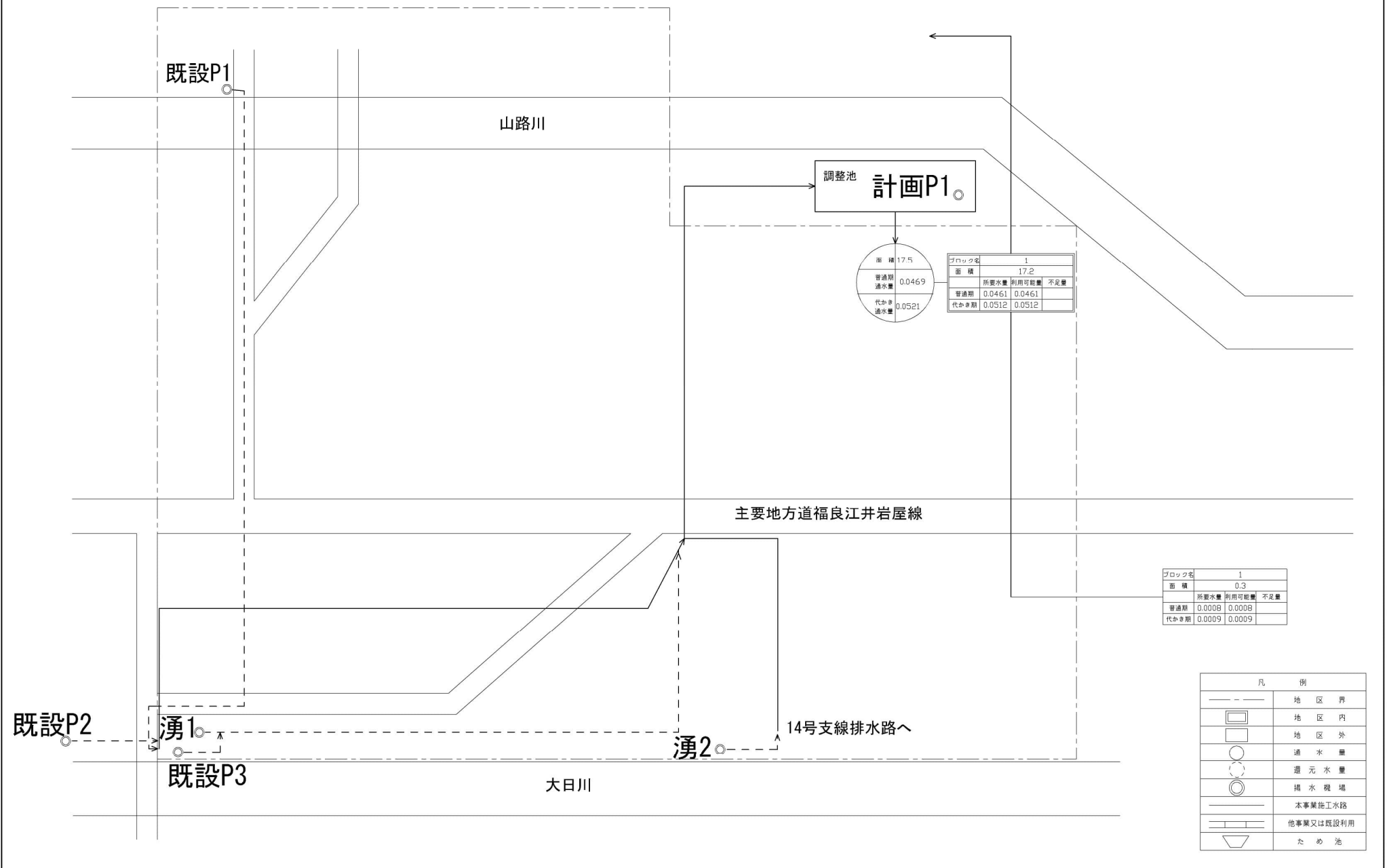
2. 計画かんがい方式

区分	かんがい式	代かき期間	かんがい期間	間断日数	備考
輪換田	たん水かんがい	6月12日～6月16日	6月12日～9月30日	—	パイプライン方式
輪換畑	うね間かんがい	—	6月12日～9月30日	5日	パイプライン方式

3. 計画用水系統

計画用水系統図参照

計画用水系統模式図



4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)	水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			田畑輪換						消費 水量 (m ³ /s)	損 失 率 (%)	粗用水量		備 考						
			普通期 計画平均 単位 用水量 (mm/日)	代かき期 計画代 かき単 位用水 量 (mm)	面 積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)	水田かんがい			畑地かんがい					平 均 (m ³ /s)	最 大 (m ³ /s)							
												普通期 計画平均 単位 用水量 (mm/日)	代かき期 計画代 かき単 位用水 量 (mm)	面 積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)						普通期 計画平均 単位 用水量 (mm/日)	代かき期 計画代 かき単 位用水 量 (mm)	面 積 (ha)	一日当 たり計 画平均 かん水 深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面 積 (ha)
貯水池掛	農 業 水	17.2						5.5	5	0.3	22.3 ~ 41.9	120	7.6	5.5	5	9.3	0.043	10%	0.047	0.051	ブロック1							
	〃																											
	〃																											
	〃																											
	〃																											
	〃																											
	〃																											
	〃																											
	〃																											
計		17.2								0.3			7.6			9.3												

5. 水源計画

(1) 水利用計画

・有効雨量・・・・・・有効雨量は、日雨量の5mm～80mmの80%とする。

(第10表-2)

項目 区分	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水 工 源 種	備 考
					水源名	取水地点利用 可能量	ほ場利用 可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水 量		
					a (千m ³)	b (千m ³)	c=a-b (千m ³)	d=c/(1-α) (千m ³)	e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)		
事業名 農地中間管理 機構関連農地 整備事業	448	37	411	464	湧水 山路川	464	464	0	0	-	-	-	10%

(2) 用水対策

(7) 貯水池
該当なし

(4) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積(ha)		取水量 (m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備 考
			事業名		最 大	平 均		
			農地中間管理機構関連 農地整備事業					
頭首工	山路川	9.3	0.8		0.003	0.009	-	鋼製転倒ゲート

(7) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)	所要水量 (m ³ /s)		揚水機				備 考
			最 大	平 均	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台 数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
1号ポンプ	湧水・反復水	17.2	0.1075		-	0.1075	2	0.1075	

(エ) 用水路

(第10表-6)

名称	項目	かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	備 考
	事業名					
	農地中間管理機構関連農地整備事業					
1号用水			0.1135	0.0020	VU350	
2号用水			0.1133	0.0293	VU350	
3号用水		1.33	0.0228	0.1541	VU75、VP75、VU100、VU125、VU150、VU200	
4号用水			0.1089	0.0327	VU350	
5号用水		0.14	0.0022	0.0040	VU75	
6号用水			0.1085	0.0782	VU350	
7号用水		1.05	0.0222	0.1230	VU75、VU100、VU125、VU150、VU200	
8号用水		0.53	0.0119	0.0433	VU75、VU100、VU125	
9号用水			0.1022	0.1071	VU350	
10号用水		0.83	0.0192	0.0902	VU75、VU100、VU125、VU150	
11号用水		1.54	0.0266	0.3236	VU75、VP75、VU100、VU125、VU150、VU200	
12号用水			0.0632	0.1017	VU300	
13号用水		0.56	0.0122	0.0434	VU100、VU125	
14号用水			0.0586	0.1702	VU250、VU300	
15号用水		0.52	0.0381	0.2082	VU200、VP200	
16号用水		0.88	0.0134	0.0455	VU75、VU100、VU125、VU150	
17号用水		0.76	0.0160	0.2845	VU75、VU100、VP100、VP125、VP150	
18号用水			0.0452	0.0514	VU250	
19号用水		0.52	0.0066	0.0610	VP75、VU100、VP100	
20号用水			0.0429	0.0180	VU250	
21号用水		0.34	0.0074	0.0740	VU75、VU100	
22号用水			0.0415	0.0990	VP250	
23号用水		0.86	0.0222	0.1870	VU75、VU100、VU125、VU150、VP150、VU200	
24号用水			0.0296	0.0400	VU200	
25号用水		0.81	0.0125	0.0450	VU75、VU100、VU125、VU150	
26号用水			0.0108	0.0520	VP125	
27号用水		0.31	0.0080	0.0920	VP75、VP100	
28号用水		0.16	0.0028	0.0900	VU75、VP75	
29号用水			0.0154	0.0927	VU150、VU200、VU250	
30号用水		0.17	0.0026	0.0124	VU75	
31号用水			0.0128	0.0134	VU150	
32号用水		0.47	0.0071	0.0530	VU75、VU100	
33号用水		0.40	0.0035	0.0557	VU75、VU100	
34号用水			0.0015	0.1350	VP75、VU100、VU150、VU200、VU250、VU350	
貯水池 計				3.013		
合計		12.19		3.013		

項目 名称	かんがい面積 (ha)		最大通水量 (m^3/s)	延 長 (km)	構 造	備 考
	事業名					
	農地中間管理機構関連農地整備事業					
				0.2018	VU75	トンネルその他
				0.3800	VP75	トンネルその他
				0.3366	VU100	トンネルその他
				0.0668	VP100	トンネルその他
				0.2404	VU125	トンネルその他
				0.0606	VP125	トンネルその他
				0.4283	VU150	トンネルその他
				0.1901	VP150	トンネルその他
				0.2349	VU200	トンネルその他
				0.1812	VP200	トンネルその他
				0.1652	VU250	トンネルその他
				0.0990	VP250	トンネルその他
				0.1771	VU300	トンネルその他
				0.2506	VU350	トンネルその他
合計				3.013		

(オ) その他の水源施設

該当なし

(3) 水温水質

かんがい用水として利用するうえで支障はない。

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

日雨量	241 mm/日	(1/10年確率)			
基幹排水		時間雨量強度	71 mm/hr	4時間雨量強度	30 mm/hr
末端排水		時間雨量強度	71 mm/hr	4時間雨量強度	30 mm/hr

2. 計画排水方式

2-1. 自然排水

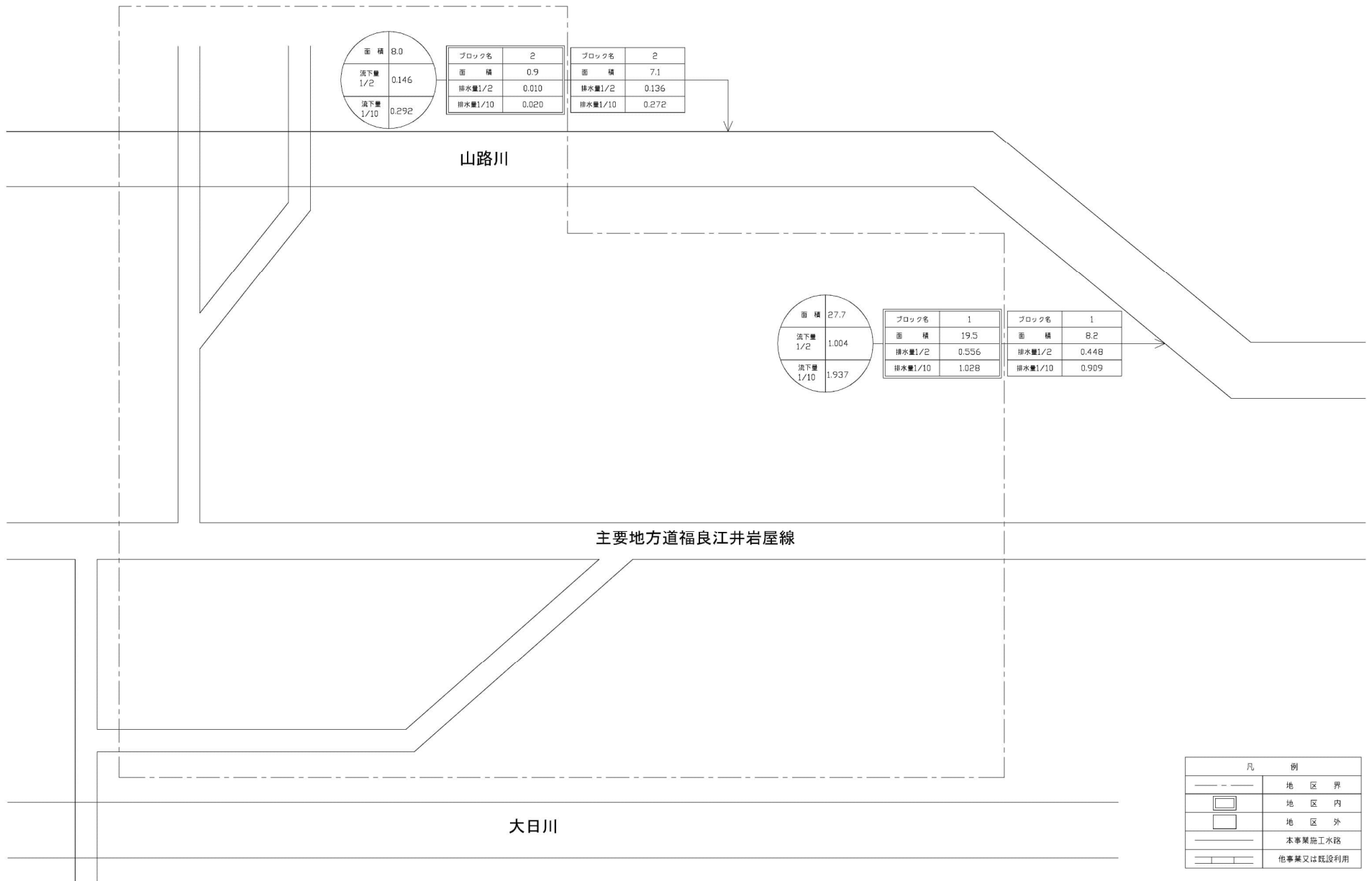
2-2. 排除時間

排除時間については、兵庫県土地改良技術基準及び県等打合せにより下記とする。
本地区は稲作及び畑作地域であるため、農作物の湛水防止を図る必要があり、基本的に1時間雨量・1時間排除とする。但し、田面標高から0.1m下がりの水位までの全断面で1時間雨量1時間排除降雨強度の1/10確率排水量を流下させることが可能な場合は、4時間雨量・4時間排除の断面とする。

3. 計画排水系統

計画排水系統模式図参照

計画排水系統模式図



4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水 系統名	受益面積(ha)	流域面積		基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位流出量		基底流出量		全排水量 (m³/s)			単位排水量		備考
	事業名	(km²)			(m³/s/km²)		(m³/s/km²)		山地	平地		(m³/s/km²)		
		山地	平地		山地	平地	山地	平地		自然排水	機械排水	山地	平地	
山路川 (山路川1)	19.5	0.04	0.24	241	3.75、8.88	2.92~8.33 6.90~19.72	-	-	0.02	2.01	-	0.60	8.39	
山路川 (山路川2)	0.9	0.07	0.01	241	3.75	2.92、4.58	-	-	0.25	0.04	-	3.56	4.30	
計	20.4	0.11	0.25	-	-	-	-	-	0.27	2.06		-	-	

5. 排水対策

(1) 排水水門

該当なし

(2) 排水機

該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)		計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構 造	排水本川			備 考
		事業名					名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		農地中間管理機構関連農地整備事業								
支排1号				2.037	0.0031	HP800				
支排2号	0.25	0.19		1.829	0.1526	3AP 600×1200				
支排3号	2.25	1.54		0.450	0.1697	BF250				
支排4号				1.638	0.0064	3AP 600×1000				
支排5号	0.65	0.47		0.402	0.0611	BF250				
支排6号				1.593	0.1098	3AP 600×1000				
支排7号	1.44	1.21		0.402	0.1215	BF250				
支排8号	0.23	0.11		0.402	0.0542	BF250				
支排9号	1.03	0.96		0.402	0.1034	BF250				
支排10号				1.403	0.1092	3AP 600×1000				
支排11号	1.39	1.14		0.589	0.1120	BF400				
支排12号	0.61	0.44		0.590	0.0537	BF300				
支排13号	3.88			0.520	0.1174	BF250				
支排14号	1.02	0.81		0.520	0.1086	BF250				
支排15号	0.87	0.78		0.402	0.0823	BF250				
支排16号				0.945	0.1095	3AP 500×800				
支排17号	0.86	0.51		0.530	0.0508	BF350				
支排18号	0.31	0.24		0.590	0.0665	BF300				
支排19号	1.16	0.42		0.520	0.0806	BF250				
支排20号	1.72	1.68		0.520	0.1955	BF250				
支排21号	0.13	0.09		0.520	0.0316	BF250				
支排22号	0.96	0.91		0.402	0.0982	BF250				
支排23号				0.669	0.0472	BF450				
支排24号	0.25	0.16		0.669	0.0752	BF450				
支排25号	1.38	0.19		0.761	0.0292	BF400				
支排26号				0.671	0.0955	BF350				
支排27号	0.46	0.41		0.520	0.0417	BF250				
支排28号	0.45	0.41		0.671	0.0675	BF350				
支排29号	0.14	0.11		0.590	0.0287	BF300				
支排30号	3.48	0.43		0.590	0.0217	BF300				
支排31号	0.15	0.04		0.520	0.0639	BF250				
支排32号	1.01	0.87		0.520	0.0990	BF250				
支排33号				0.402	0.0106	BF250				
支排34号	0.34	0.25		0.402	0.0598	BF250				
支排35号	0.69	0.59		0.466	0.1356	BF300				
支排37号	0.74	0.62		0.520	0.1389	BF250				
支排38号	0.44	0.38		0.520	0.0513	BF250				
支排39号	0.71	0.55		0.520	0.0723	BF250				
支排41号	0.83	0.62		0.520	0.1606	BF250				
支排42号	6.83			0.761	0.1652	BF400				
支排44号	0.30	0.07		0.520	0.0248	BF250				
1号小排水	0.04			0.002	0.0206	トラブ240				
2号小排水	0.08			0.004	0.0232	BF200				
3号小排水	0.09			0.004	0.0331	BF200				
4号小排水	0.04			0.001	0.0167	BF200				
5号小排水	0.11			0.004	0.0431	BF200				
6号小排水	0.09			0.004	0.0432	BF200、トラブ240				
計					3.566					

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積(ha)		計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排水本川			備 考
		事業名					名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		農地中間管理機構関連農地整備事業								
					0.1458	BF200				
					1.9470	BF250				
					0.3062	BF300				
					0.2138	BF350				
					0.3064	BF400				
					0.1224	BF450				
					0.0031	HP800				
					0.1526	3AP 600×1200				
					0.2254	3AP 600×1000				
					0.1095	3AP 500×800				
					0.0341	トラフ240				
					計			3.566		

(4) そ の 他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名	項目	幅 (有効 (m))	×	延長 (km)	構造	既設道路との関係	備考
1号支線		3.0(2.5)	×	0.0760	アスファルト舗装		
2号支線		5.0(4.0)	×	0.2029	アスファルト舗装		
3号支線		5.0(4.0)	×	0.1238	アスファルト舗装		
4号支線		5.0(4.0)	×	0.0855	アスファルト舗装		
5号支線		5.0(4.0)	×	0.2363	アスファルト舗装		
6号支線		5.0(4.0)	×	0.0884	アスファルト舗装		
7号支線		5.0(4.0)	×	0.1233	アスファルト舗装		
8号支線		5.0(4.0)	×	0.1323	アスファルト舗装		
9号-1支線		5.0(4.0)	×	0.2200	アスファルト舗装		
9号-2支線		5.0(4.0)	×	0.3393	アスファルト舗装		
10号支線		5.0(4.0)	×	0.0488	アスファルト舗装		
11号支線		5.0(4.0)	×	0.0513	アスファルト舗装		
12号支線		5.0(4.0)	×	0.0864	アスファルト舗装		
13号支線		5.0(4.0)	×	0.0740	アスファルト舗装		
14号支線		5.0(4.0)	×	0.1483	アスファルト舗装		
15号支線		5.0(4.0)	×	0.0955	アスファルト舗装		
16号支線		5.0(4.0)	×	0.1591	アスファルト舗装		
17号支線		5.0(4.0)	×	0.0767	アスファルト舗装		
18号支線		5.0(4.0)	×	0.1427	アスファルト舗装		
19号支線		3.0(2.5)	×	0.0555	アスファルト舗装		
20号支線		2.0(1.5)	×	0.0407	アスファルト舗装		
21号支線		5.0(4.0)	×	0.1561	アスファルト舗装		
22号支線		5.0(4.0)	×	0.0712	アスファルト舗装		
1号通作道		3.0(2.5)	×	0.0250	アスファルト舗装		
小計		延長		2.8591			
通作道		3.0(2.5)	×	0.0250			
支線道路		2.0(1.5)	×	0.0407			
		3.0(2.5)	×	0.1315			
		5.0(4.0)	×	2.6619			
合計		延長		2.8591			

(2) 索道

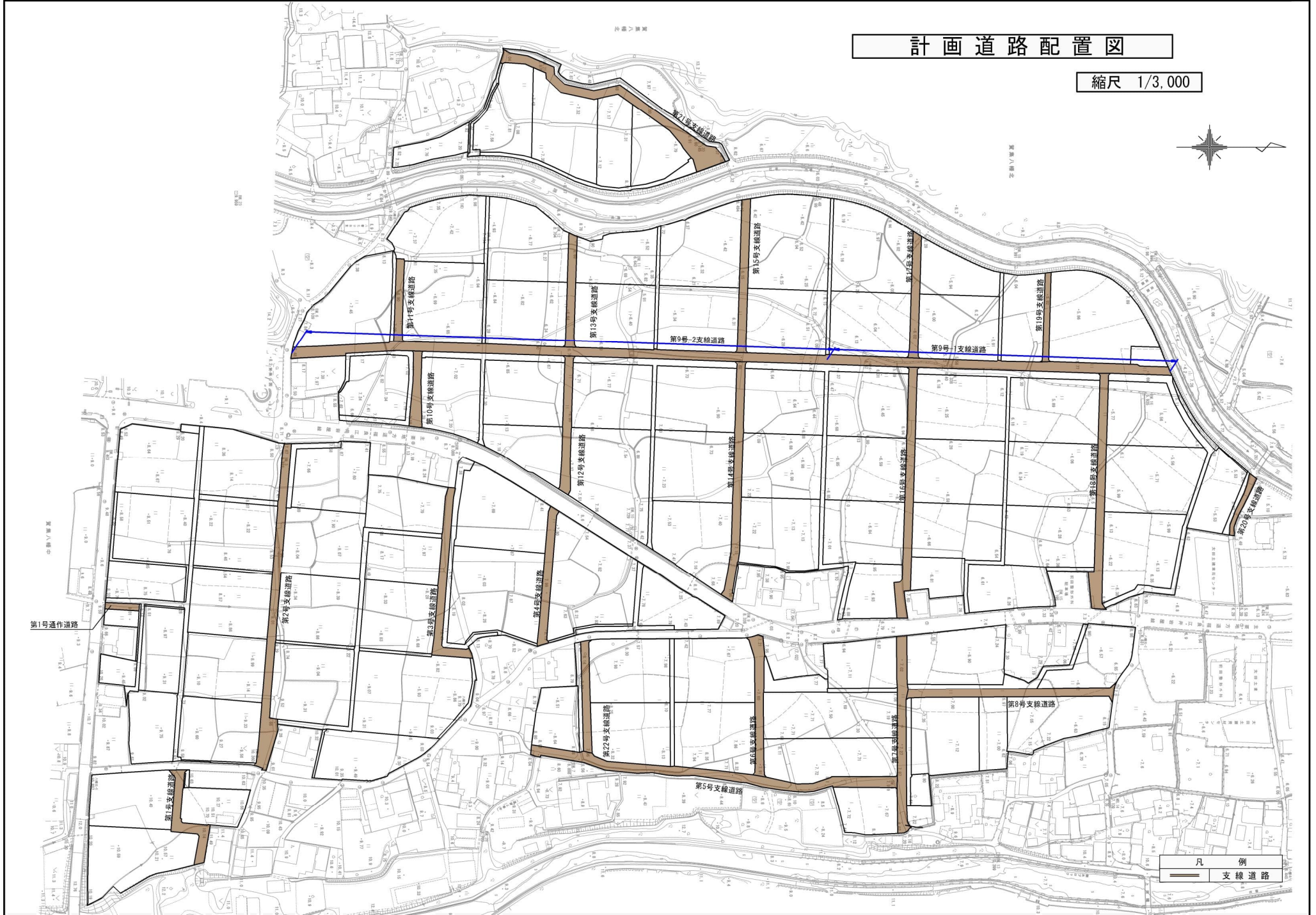
該当なし

2. 路線配置図

計画道路配置図参照

計画道路配置図

縮尺 1/3,000



凡 例	
	支線道路

第 6 節 農用地造成計画

該当なし

第 7 節 洪水調節計画

該当なし

第 8 節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
50 × 40	0.20	12.0	70	0.05～3.0	水田
40 × 40	0.16	5.2	30		水田、畑
計		17.2			

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考
8.1	地力保全	15	12,150	灰色土壌 壤土型 F52(田)
0.8	地力保全	15	1,200	灰色土壌 壤土マンガン型 F53(田)
7.5	地力保全	15	11,250	灰色土壌 砂土型 F54(田)
0.5	地力保全	15	750	灰色土壌 礫質土壌 砂土頭層型 K94(田)
0.3	地力保全	15	450	灰色土壌 砂土型 F54(畑)
(計) 17.2			25,800	

(3) 末端導水路配置図

該当なし

2. 暗 渠 排 水

該当なし

3. 客 土

該当なし

4. 農 地 保 全

該当なし

第 10 節 老朽ため池改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

該当なし

2. 頭首工

該当なし

3. 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径(mm)	台数(台)	型式	動力(kw)	台数(台)	
1号ポンプ	八幡北	0.1075	15	-	水中ポンプ	φ150	2	電動機	22.0	2	

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)	通水量 (m³/s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名		開きよ	トンネルその他	計				
	農地中間管理機構関連農地整備事業								
1号用水		0.1135		0.0020	0.0020	VU350			
2号用水		0.1133		0.0293	0.0293	VU350			
3号用水	1.33	0.0228		0.1541	0.1541	VU75、VP75、VU100、VU125、VU150、VU200			
4号用水		0.1089		0.0327	0.0327	VU350			
5号用水	0.14	0.0022		0.0040	0.0040	VU75			
6号用水		0.1085		0.0782	0.0782	VU350			
7号用水	1.05	0.0222		0.1230	0.1230	VU75、VU100、VU125、VU150、VU200			
8号用水	0.53	0.0119		0.0433	0.0433	VU75、VU100、VU125			
9号用水		0.1022		0.1071	0.1071	VU350			
10号用水	0.83	0.0192		0.0902	0.0902	VU75、VU100、VU125、VU150			
11号用水	1.54	0.0266		0.3236	0.3236	VU75、VP75、VU100、VU125、VU150、VU200			
12号用水		0.0632		0.1017	0.1017	VU300			
13号用水	0.56	0.0122		0.0434	0.0434	VU100、VU125			
14号用水		0.0586		0.1702	0.1702	VU250、VU300			
15号用水	0.52	0.0381		0.2082	0.2082	VU200、VP200			
16号用水	0.88	0.0134		0.0455	0.0455	VU75、VU100、VU125、VU150			
17号用水	0.76	0.0160		0.2845	0.2845	VU75、VU100、VP100、VP125、VP150			
18号用水		0.0452		0.0514	0.0514	VU250			
19号用水	0.52	0.0066		0.0610	0.0610	VP75、VU100、VP100			
20号用水		0.0429		0.0180	0.0180	VU250			
21号用水	0.34	0.0074		0.0740	0.0740	VU75、VU100			
22号用水		0.0415		0.0990	0.0990	VP250			
23号用水	0.86	0.0222		0.1870	0.1870	VU75、VU100、VU125、VU150、VP150、VU200			
24号用水		0.0296		0.0400	0.0400	VU200			
25号用水	0.81	0.0125		0.0450	0.0450	VU75、VU100、VU125、VU150			
26号用水		0.0108		0.0520	0.0520	VP125			
27号用水	0.31	0.0080		0.0920	0.0920	VP75、VP100			
28号用水	0.16	0.0028		0.0900	0.0900	VU75、VP75			
29号用水		0.0154		0.0927	0.0927	VU150、VU200、VU250			
30号用水	0.17	0.0026		0.0124	0.0124	VU75			
31号用水		0.0128		0.0134	0.0134	VU150			
32号用水	0.47	0.0071		0.0530	0.0530	VU75、VU100			
33号用水	0.40	0.0035		0.0557	0.0557	VU75、VU100			
34号用水		0.0015		0.1350	0.1350	VP75、VU100、VU150、VU200、VU250、VU350			
貯水池 計				3.0126	3.0126				
合計	12.19	—		3.013	3.013				

項目 水路名	かんがい面積 (ha)	通水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名		開きよ	トンネルその他	計				
	農地中間管理機構関連農地整備事業								
				0.2018		VU75			
				0.3800		VP75			
				0.3366		VU100			
				0.0668		VP100			
				0.2404		VU125			
				0.0606		VP125			
				0.4283		VU150			
				0.1901		VP150			
				0.2349		VU200			
				0.1812		VP200			
				0.1652		VU250			
				0.0990		VP250			
				0.1771		VU300			
				0.2506		VU350			
合計				3.013	3.013				

5. その他かんがい施設
該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

該当なし

2. 排水機

該当なし

3. 排水路

(第18表-3)

水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名	農地中間管理機構関連農地整備事業		開きよ	トンネルその他	計				
支排1号			2.037		0.0031	0.0031	HP800			
支排2号	0.19		1.829	0.1526		0.1526	3AP 600×1200			
支排3号	1.54		0.450	0.1697		0.1697	BF250			
支排4号			1.638	0.0064		0.0064	3AP 600×1000			
支排5号	0.47		0.402	0.0611		0.0611	BF250			
支排6号			1.593	0.1098		0.1098	3AP 600×1000			
支排7号	1.21		0.402	0.1215		0.1215	BF250			
支排8号	0.11		0.402	0.0542		0.0542	BF250			
支排9号	0.96		0.402	0.1034		0.1034	BF250			
支排10号			1.403	0.1092		0.1092	3AP 600×1000			
支排11号	1.14		0.589	0.1120		0.1120	BF400			
支排12号	0.44		0.590	0.0537		0.0537	BF300			
支排13号			0.520	0.1174		0.1174	BF250			
支排14号	0.81		0.520	0.1086		0.1086	BF250			
支排15号	0.78		0.402	0.0823		0.0823	BF250			
支排16号			0.945	0.1095		0.1095	3AP 500×800			
支排17号	0.51		0.530	0.0508		0.0508	BF350			
支排18号	0.24		0.590	0.0665		0.0665	BF300			
支排19号	0.42		0.520	0.0806		0.0806	BF250			
支排20号	1.68		0.520	0.1955		0.1955	BF250			
支排21号	0.09		0.520	0.0316		0.0316	BF250			
支排22号	0.91		0.402	0.0982		0.0982	BF250			
支排23号			0.669	0.0472		0.0472	BF450			
支排24号	0.16		0.669	0.0752		0.0752	BF450			
支排25号	0.19		0.761	0.0292		0.0292	BF400			
支排26号			0.671	0.0955		0.0955	BF350			
支排27号	0.41		0.520	0.0417		0.0417	BF250			
支排28号	0.41		0.671	0.0675		0.0675	BF350			
支排29号	0.11		0.590	0.0287		0.0287	BF300			
支排30号	0.43		0.590	0.0217		0.0217	BF300			
支排31号	0.04		0.520	0.0639		0.0639	BF250			
支排32号	0.87		0.520	0.0990		0.0990	BF250			
支排33号			0.402	0.0106		0.0106	BF250			
支排34号	0.25		0.402	0.0598		0.0598	BF250			
支排35号	0.59		0.466	0.1356		0.1356	BF300			
支排37号	0.62		0.520	0.1389		0.1389	BF250			
支排38号	0.38		0.520	0.0513		0.0513	BF250			
支排39号	0.55		0.520	0.0723		0.0723	BF250			
支排41号	0.62		0.520	0.1606		0.1606	BF250			
支排42号			0.761	0.1652		0.1652	BF400			
支排44号	0.07		0.520	0.0248		0.0248	BF250			
1号小排水			0.002	0.0206		0.0206	トラフ240			
2号小排水			0.004	0.0232		0.0232	BF200			
3号小排水			0.004	0.0331		0.0331	BF200			
4号小排水			0.001	0.0167		0.0167	BF200			
5号小排水			0.004	0.0431		0.0431	BF200			
6号小排水			0.004	0.0432		0.0432	BF200、トラフ240			
計	17.2			3.563	0.003	3.566				

項目 水路名	受益面積 (ha)	排水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
			開きよ	トンネルその他	計				
					0.1458	BF200			
					1.9470	BF250			
					0.3062	BF300			
					0.2138	BF350			
					0.3064	BF400			
					0.1224	BF450			
					0.0031	HP800			
					0.1526	3AP 600×1200			
					0.2254	3AP 600×1000			
					0.1095	3AP 500×800			
					0.0341	トラフ240			
計					3.566				

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 路線名	路 線 名	幅(有効)(m) × 延長(km)	構 造	付 帯 構 造 物			最急 勾配(%)	同左の 延長(m)	最小曲線 半径(m)	備 考
				名 称	構 造	数 量(箇所)				
支線道路	2号支線, 3号支線, 4号支線, 5号支線, 6号支線, 7号支線, 8号支線, 9号-1支線, 9号-2支線, 10号支線, 11号支線, 12号支線, 13号支線, 14号支線, 15号支線, 16号支線, 17号支線, 18号支線, 21号支線, 22号支線	5.0 (4.0) × 2.662	アスファルト舗装				—	—	—	
支線道路	1号支線, 19号支線	3.0 (2.5) × 0.132	アスファルト舗装				—	—	—	
通作道路	1号通作道	3.0 (2.5) × 0.025	アスファルト舗装				—	—	—	
支線道路	20号支線	2.0 (1.5) × 0.041	アスファルト舗装				—	—	—	
計		2.859								

(2) 道路主要構造物

該当なし

2. 索道

該当なし

第4節 農用地造成

該当なし

第5節 洪水調節施設

該当なし

第6節 干拓施設

該当なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	
全区	17.2	50×40	20a	17.2	25,800	40×40 16a

(2) 末端用水路等

該当なし

(3) 末端排水路等

該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

該当なし

(2) 心土破碎

該当なし

3. 客 土

該当なし

4. 除 礫

該当なし

5. 農 地 保 全

該当なし

第8節 老朽ため池改修施設

該当なし

第6章 附 帯 工 事 計 画

該当なし

第7章 工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期

1. 工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期

着手 平成 30 年 10 月

完了 令和 8 年 3 月

2. 工 程 表

工程		年度							
		平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
区画 整理	実施設計	—	—						
	整地工		—	—	—	—	—	—	—
	道路工		—	—	—	—	—		
	用水路工		—	—	—	—			
	排水路工		—	—	—	—			

第8章 環境との調和への配慮

1. 基本方針

南あわじ市(旧南淡町)は、基本理念『緑と文化を育むゆとりあるまちづくり』をあげており、生産活動を通して農地、ため池、農業用水路等の環境資源とともに生きることとしている。

また、環境保全の基本的な考え方、「田園環境整備マスタープラン」等上位計画を受けて、旧南淡町全体の環境保全目標を「高生産農地の保全と適正な環境との調和」を軸に「身近な生物相の保全・創造」「恵まれた自然・文化を生かした交流と生活の場の創造」と設定されている。

2. 当該地域の生態系の現況

【植物】 73種 (◎貴重種ニシキソウを含む)、【貝類】 スクミリングガイ、カワニナ、ヒメタニシ

【魚類】 ◎ドジョウ、 ◎ミナミメダカ、オイカワ、カワムツ、モツゴ、タモロコ、トウヨシノボリ、【両生類】 ■ ウシガエル、ヌマガエル

◎...重要種 ■...特定外来生物

3. 当該地区における環境配慮の方法

- ・ 重要種ドジョウ、メダカが生息しており、調整池において深み(空石積み)を設置することで、非かんがい期においても湛水環境を維持する。
- ・ 植物の重要種については、施工前に地区内の同等の環境に移植を行う。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

農用地の区画整理とあわせて道路網の整備、用排水路の分離、用水路のパイプライン化による農作業の省力化を図ると共に出入り耕作の解消を目指すこととしたため、全域を一換地工区とする。利用権等の調整により農地集積に努め、効率かつ安定的な農業経営を目指す。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
全区	南あわじ市賀集八幡北	20.4

2. 換地区を設定する理由

該当なし

第3節 換地区計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
全区	<p>(1) 換地交付の基準とする従前の土地の地積は、県営土地改良事業計画確定の日の登記簿地積とする。但し、地籍調査において筆界未定地となった土地については、南あわじ市が行う地籍調査での成果を基にし、登記記録地積で按分した地積を実測地積とする。 また、一筆の内の一部が事業参加となる場合、事業主体が行った測量により得られた実測地積とする。</p> <p>(2) 自小作調整による従前地地積の変動は、地主小作双方合意のうえ農業委員会に受理されたもので、自小作解消の申し出のあった土地について申し出の地積により従前地地積を調整するものとする。</p> <p>(3) 既にも買取又は寄付による道路・水路等で、所有権移転登記未了の土地は、その土地の所有者の同意を得て、換地上不換地処分とし、従前の土地の対象としない。</p>

2. 用途別予定地積

(単位:ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者)	非農用地区域外に換地する土地										非農用地区域に換地する土地							機能交換に係る土地				一般 国公有地	総 合 計					
		田	畑	山林 ・ 原野	その他	通常事業施工地域に含める土地(令第1条の9()書き)			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計	特定用途用地			異種目換地	創設非農用地						合計	国	県	市町村 他	合計
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	小計			宅地	その他	計		農業経営合理化施設用地	生活上・経営上必要な施設用地	公用・公用施設用地	宅地等							
全区	従前の土地	18.7	0.2		0.5			19.4					19.4				0.0					0.0			1.0	1.0		20.4	
	換地	16.9	0.3					17.2	2.1	0.0	2.1		19.3				0.0					0.0			1.1	1.1		20.4	

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地区名	個人別換地の方針			
	地帯別、グループ別団地の設定	位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
全区	地目別集団化 特に設定なし。	各農家毎に従前地の最大団地の指す新区画を優先換地とする。また、他の者に優先換地した結果、その位置から離れる場合は、後順位最大団地の示す区画または隣接区画を換地する。	1戸当たりの目標団地数はおおむね2団地を目標とする。 集団化率 $\frac{P-Q}{P-N} \times 100 = \frac{154-92}{154-36} \times 100 = 52.5\%$	畦畔は固定畦畔とする。また、分割田は利用集積のため原則として畦畔は設けず、境界杭のみとする。

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

区分 換地区名	非農用地番号	種類	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他	
全区	非-5	分家住宅	南あわじ市賀集八幡北166番地1地先	437.00	異種目換地	従前地所有者	予定用途に供する時期令和6年度	
合計	内訳							
		異種目換地	分家住宅			437.00	㎡	
							㎡	
		小計					437.00	㎡
計					437.00	㎡		

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 土地の評価は、条件差積清算方式により次により行う。

- ① 従前の土地の評価は、特殊地の区域を除き標準地区域とし、価額は一律とする。標準地の評価額は1㎡当たり800円とする。
- ② 条件差区域(特殊地)の1㎡当りの価額は、標準地の1㎡1点当りの単価に、各特殊地の評価点数を乗じて算定する。
- ③ 従前の一筆の土地が標準地区域と条件差区域(特殊地を含む)に重なっている場合は、複合図でそれぞれの面積を求積し、合計が登記記録面積に合致するように差し引き計算率を乗じて算定する。
- ④ 換地の標準地価額は、修正率が100%以上になるよう設定する。
- ⑤ 特殊地の1㎡当りの価額は、標準地の1㎡1点当りの単価に各特殊地の評価点数を乗じて算定する。
また、従前の土地及び換地の各筆の評価額は、従前の土地又は換地の地積にその土地の1㎡当りの価額を乗じて算定する。

2. 清算の方法

条件差積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定 予 定 年 度	換地計画の決定 予 定 年 度	換地処 分 予 定 年 度	備 考
全 区	令和2年 ~ 令和4年度	令和 7 年度	令和 7 年度	

第6節 換地処分の特則

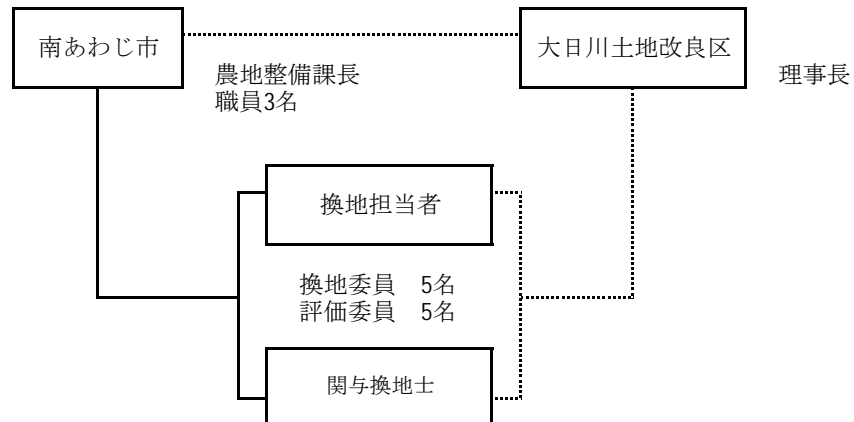
換地区の全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項ただし書きの規定より換地処分を行うものとする。

換地事務処理体制

(第25表-7)

換地区	選 定 事 務			処 分 事 務		
	直 営 ・ 委 託 の 区 分 及 び 項	担 当 者 (委 託 者)	着 手 の 時 期	直 営 ・ 委 託 の 区 分 及 び 項	担 当 者 (委 託 者)	完 了 の 時 期
全 区	委 託	換地業者 (南あわじ市)	工事着手年度 平成31年度 選定事務着手年度 平成31年度	委 託	換地業者 (南あわじ市)	工事完了(予定) 令和4年度 換地計画樹立 令和7年度 換地処分 令和7年度

換地事務処理体制（構造図）及び処理方法



（処理方針）

南あわじ市産業建設部農地整備課は、大日川土地改良区事務局および換地委員、評価委員の連携を密にして事業推進に努める。
 事務関係においては、市職員3名が事務処理にあたるほか、改良区内に換地委員や評価委員を設置し、関係組合員の中から代表で委員を選出し、事業の推進並びに土地改良区運営の補助に当たる。
 また、換地事務に対する取組については上記機構図のとおりであり、関与換地士の指導を受けながら、三位一体となった換地事務処理体制の確立に万全を期する計画である。

第 10 章 事業費の総額及び内訳

総額 792,922,000 円
(単位:千円) (第26表)

区 分	事業費
工事費	638,623
区画整理	638,623
区画整理工	638,623
整地工	159,402
道路工	164,934
用水路工	121,661
排水路工	192,626
用地補償費	17,716
測量試験費 (埋蔵文化財調査費含む)	69,714
換地費	26,618
生産基盤付帯整備	2,493
高付加価値農業施設移転等事業	2,493
事業費	755,164
事務費	37,758
総事業費	792,922

事務費 = 事業費 × 5 % (県営事業)

第 11 章 効 用

区画整理

(第27表)

事業名	項目		年総効果（便益）額 （千円）	年増加農業所得額 （千円）	うち機能向上分	現況年総 農業所得額	備 考
	区 分						
農地 中間 管理 機構 関連 農地 整備 事業	食料の安定供給の確保に関する効果		52,262	57,219	57,219		
		作物生産効果	4,521	9,478	9,478		
		営農経費節減効果	49,313	49,313	49,313		
		維持管理費節減効果	△ 1,572	△ 1,572	△ 1,572		
	農業の持続的発展に関する効果		298				
		耕作放棄地防止効果	298				
	多面的機能の発揮に関する効果		2,226				
		国産農産物安定供給効果	2,226				
		計	54,786	57,219	57,219	33,539	

総費用（現在価値化） 1,083,941
 総便益額（現在価値化） 1,333,268
 総費用総便益比 1.23

第 12 章 関 連 す る 事 業

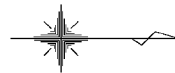
該当なし

第 13 章 現 況 ・ 計 画 図 面

1. 現況平面図
2. 計画平面図及び土地利用計画図
3. 主要構造図

現況平面図

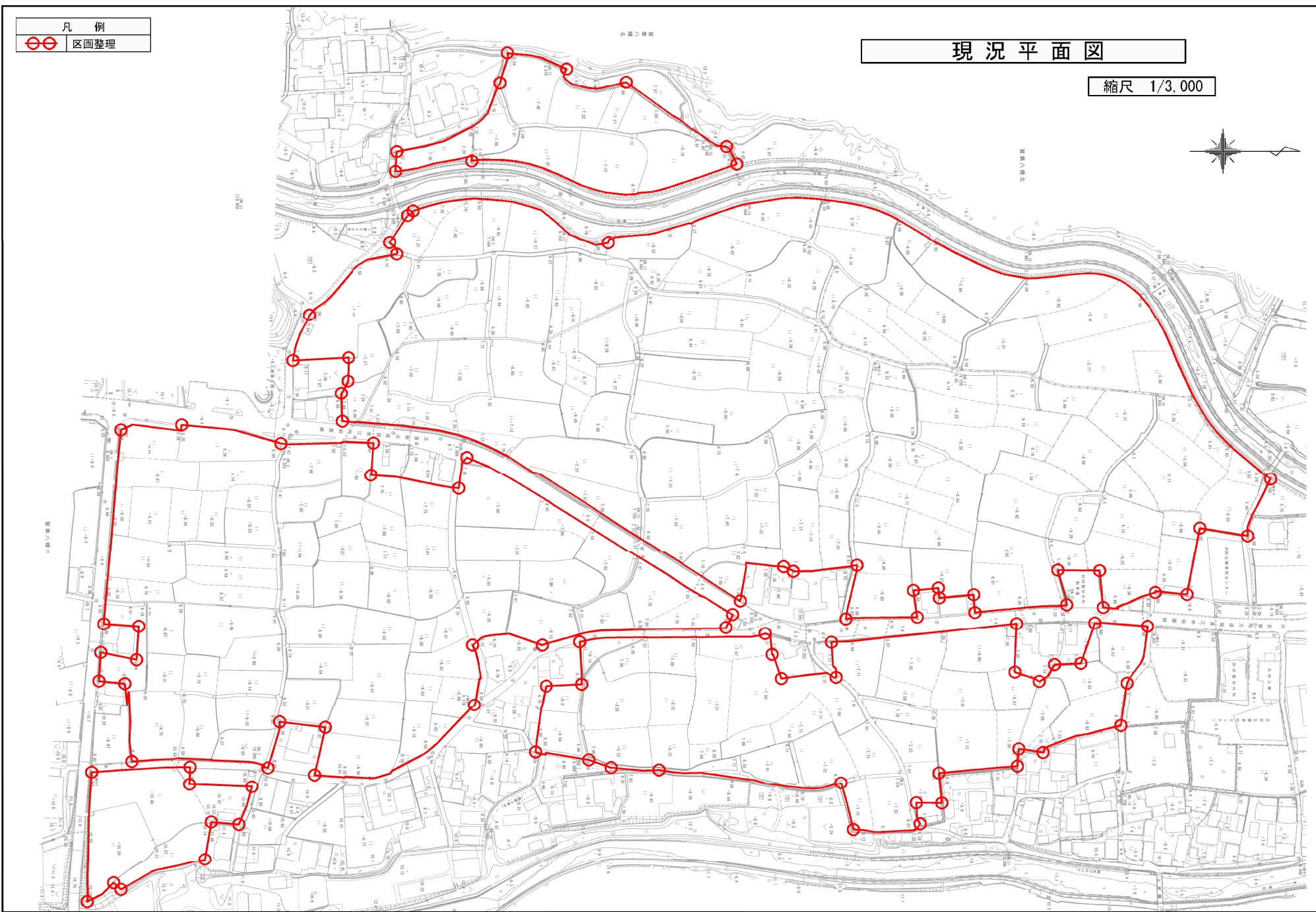
縮尺 1/3,000



凡例



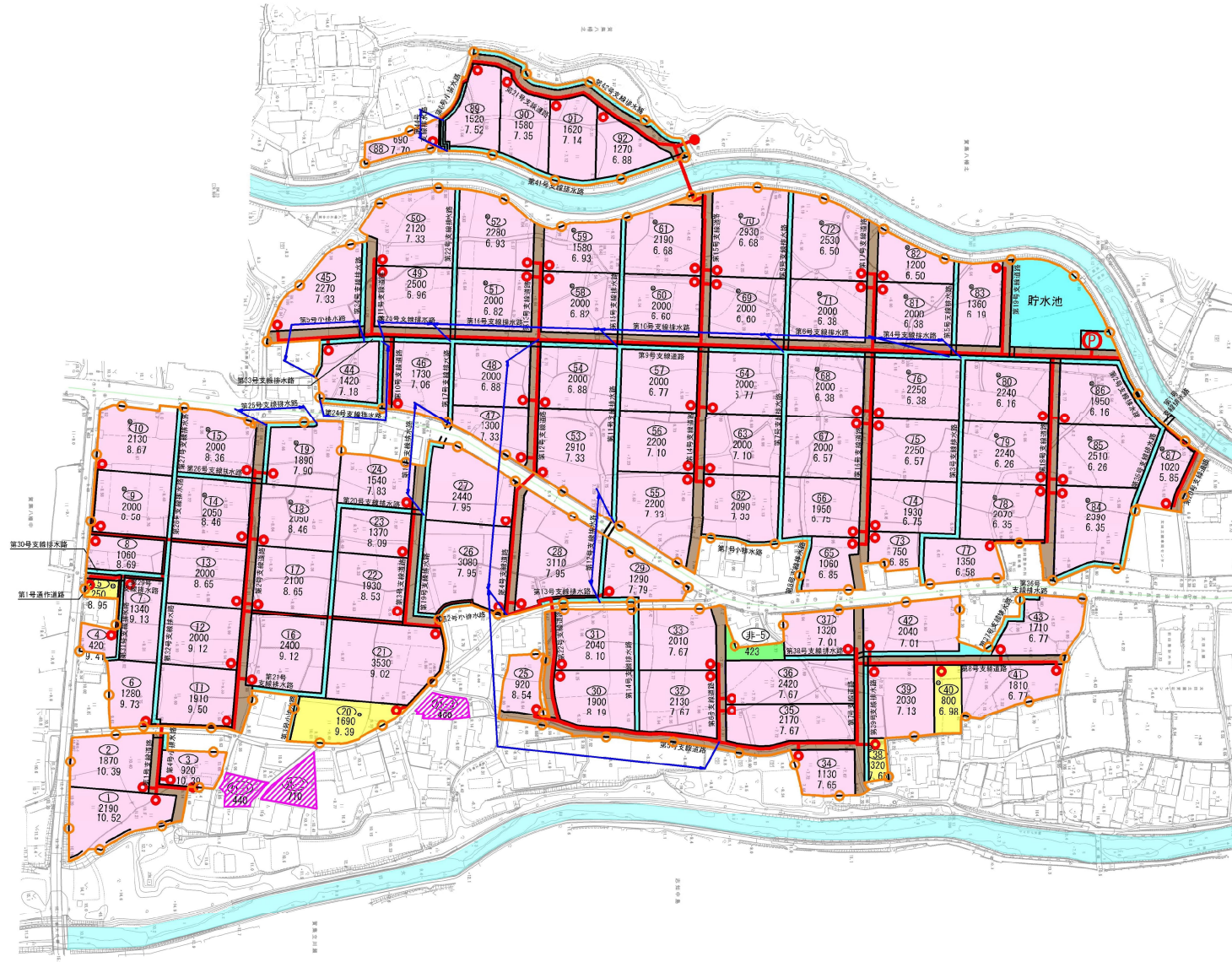
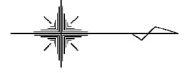
区画整理



換地 工区	番号	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m ²)	換地の手法	換地取得予定者	その他
全区	非-5	分家住宅	南あわじ市賀集八幡北	423.00	異種目換地	兵庫県	予定用途に供する時期 令和6年度
合計	内訳		異種目換地		分家住宅		423.00
			計				423.00

計画平面図 (変更前)

縮尺 1/4,000

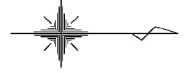


凡 例	
	水田
	畑
	非農用地
	地区外受益
	支線農道
	パイプライン
	用水路敷
	支線排水路
	揚水機
	県道
	市町道
	河川
	地区界

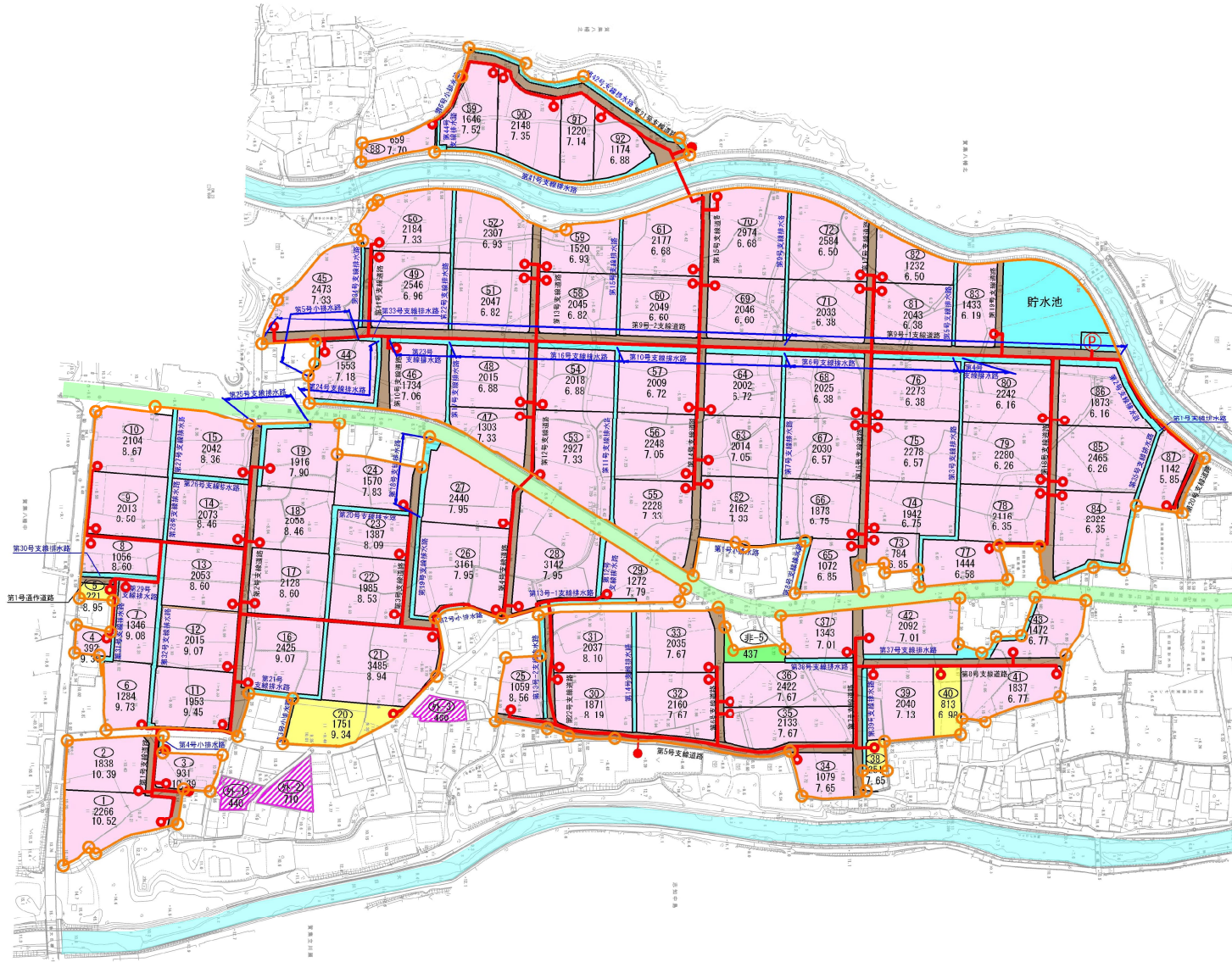
換地工区	番号	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (m ²)	換地の手法	換地取得予定者	その他
全区	非-5	分家住宅	南あわじ市賀集八幡北	(423.00) 437.00	特定用途用地 異種目換地	従前所有者	予定用途に供する時期 令和6年度
合計	内訳		特定用途用地・異種目換地		分家住宅		(423.00) 437.00
			計				(423.00) 437.00

計画平面図 (変更後)

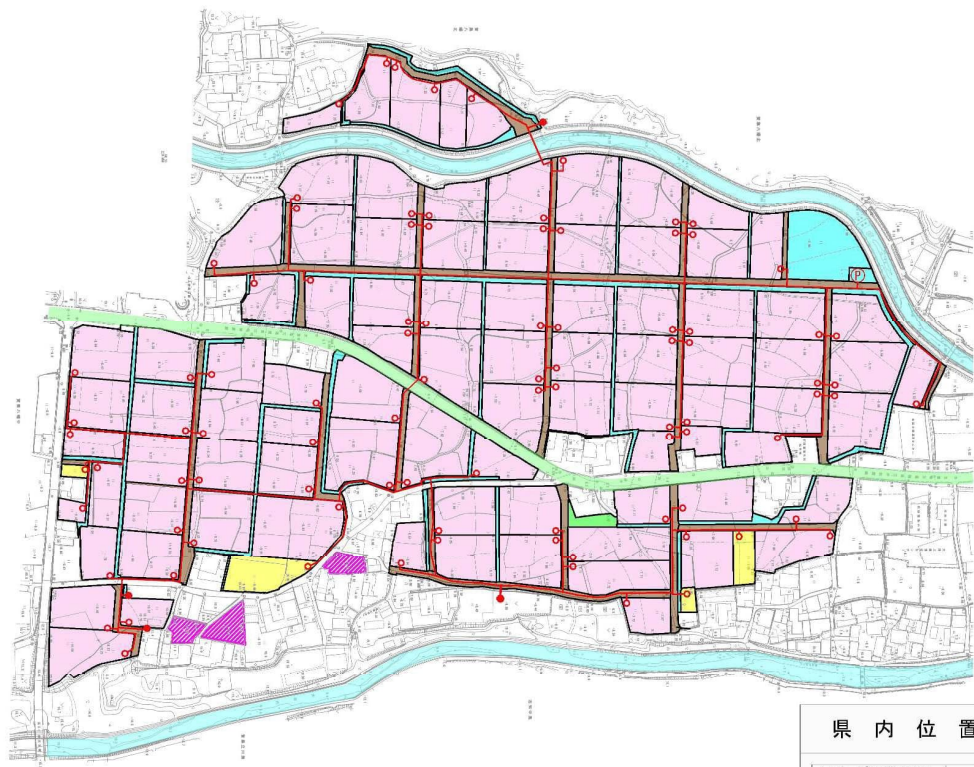
縮尺 1/4,000



凡 例	
	水田
	畑
	非農用地
	地区外受益
	支線農道
	パイプライン
	用水路敷
	支線排水路
	揚水機
	県道
	市町道
	河川
	地区界

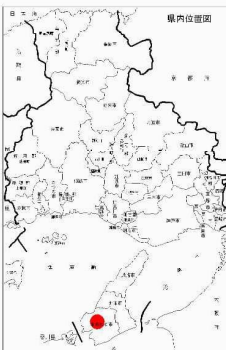


計画一般平面図(区画整理)

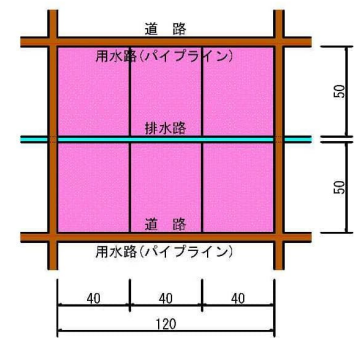


凡 例	
	水田
	畑
	非農用地
	地区外受益
	支線農道
	パイプライン
	用水路敷
	支線排水路
	揚水機
	県道
	市町道
	河川
	CON臨畔

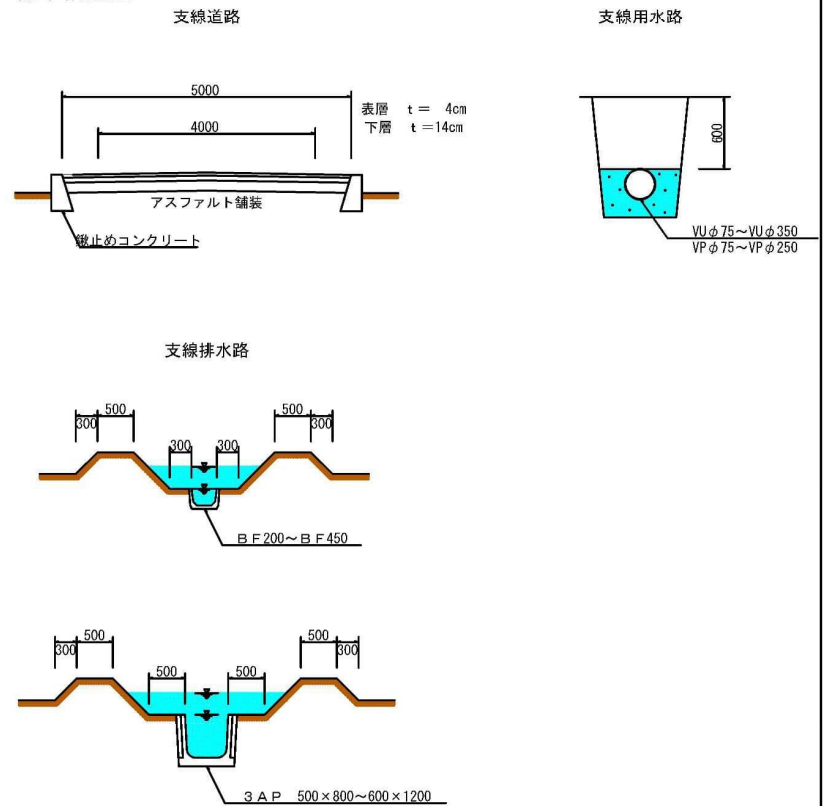
県内位置図



標準区画分割図



標準構造図

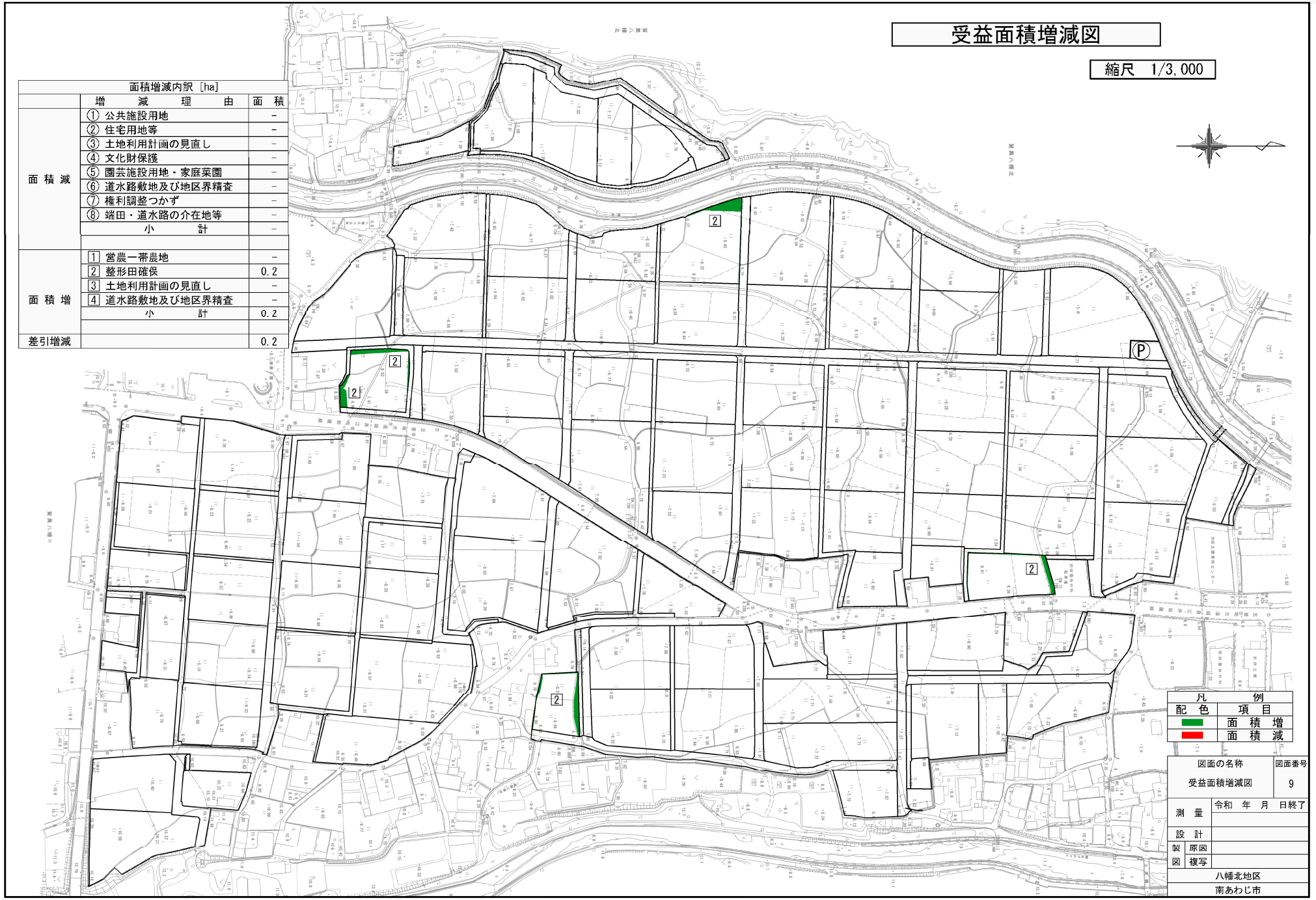


受益面積増減図

縮尺 1/3,000



面積増減内訳 [ha]		
増	減	理由
1	公共施設用地	-
2	住宅用地等	-
3	土地利用計画の見直し	-
4	文化財保護	-
5	園芸施設用地・家庭菜園	-
6	道水路敷地及び地区界精査	-
7	権利調整つかず	-
8	端田・道水路の介在地等	-
小計		-
面積減		
面積増		
1	営農一帯農地	-
2	整形田確保	0.2
3	土地利用計画の見直し	-
4	道水路敷地及び地区界精査	-
小計		0.2
差引増減		
		0.2

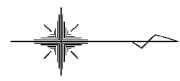


凡例	項目
■ (Green)	面積増
■ (Red)	面積減

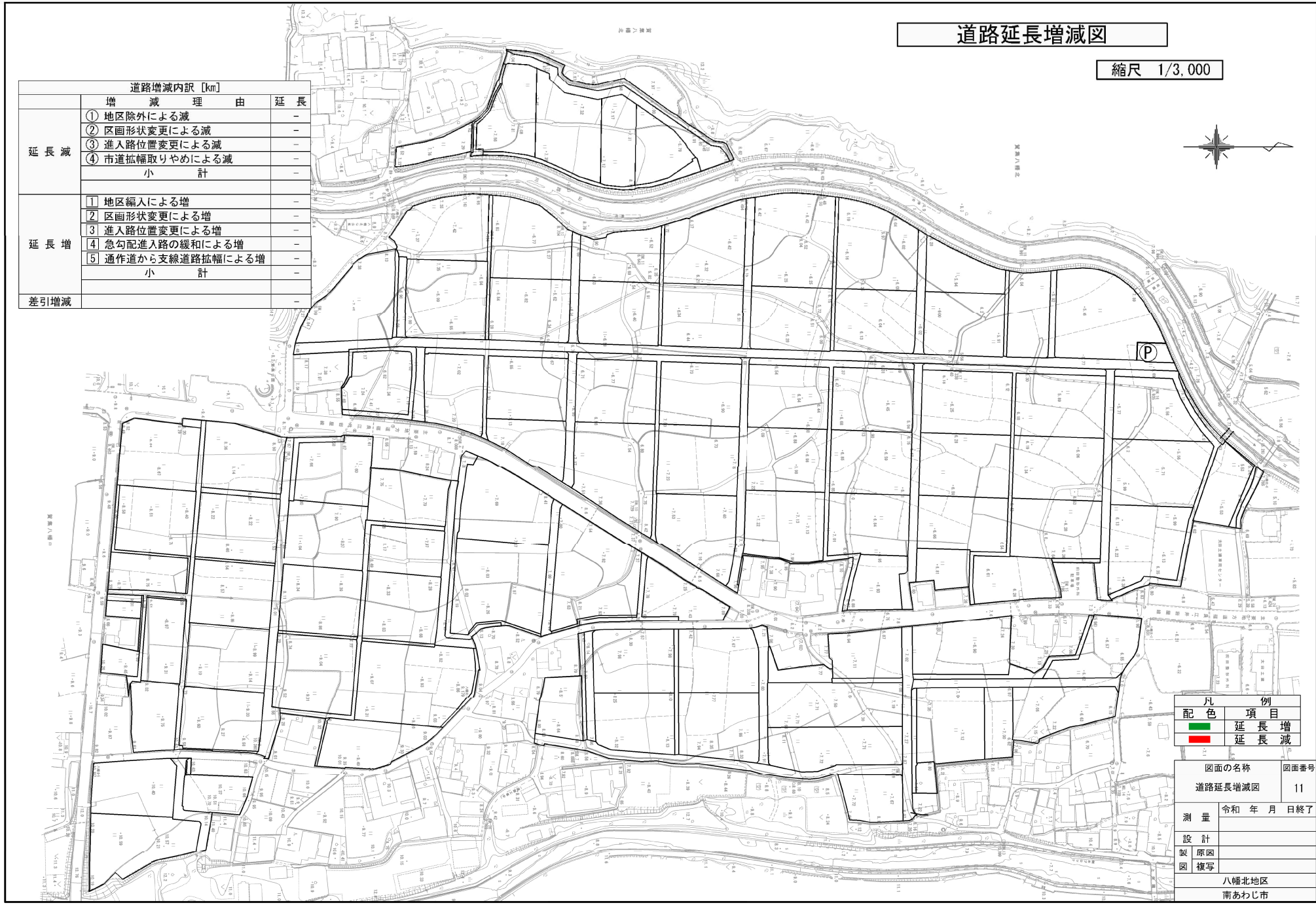
図面の名称	受益面積増減図	図面番号	9
測量	令和 年 月 日終了		
設計			
製図	原図		
図	複写		
八幡北地区 南あわじ市			

道路延長増減図

縮尺 1/3,000



道路増減内訳 [km]			
	増	減	理由
延長減	①		地区除外による減
	②		区画形状変更による減
	③		進入路位置変更による減
	④		市道拡幅取りやめによる減
	小計		
延長増	①		地区編入による増
	②		区画形状変更による増
	③		進入路位置変更による増
	④		急勾配進入路の緩和による増
	⑤		通作道から支線道路拡幅による増
小計			
差引増減			



凡例	項目
■ (Green)	延長増
■ (Red)	延長減

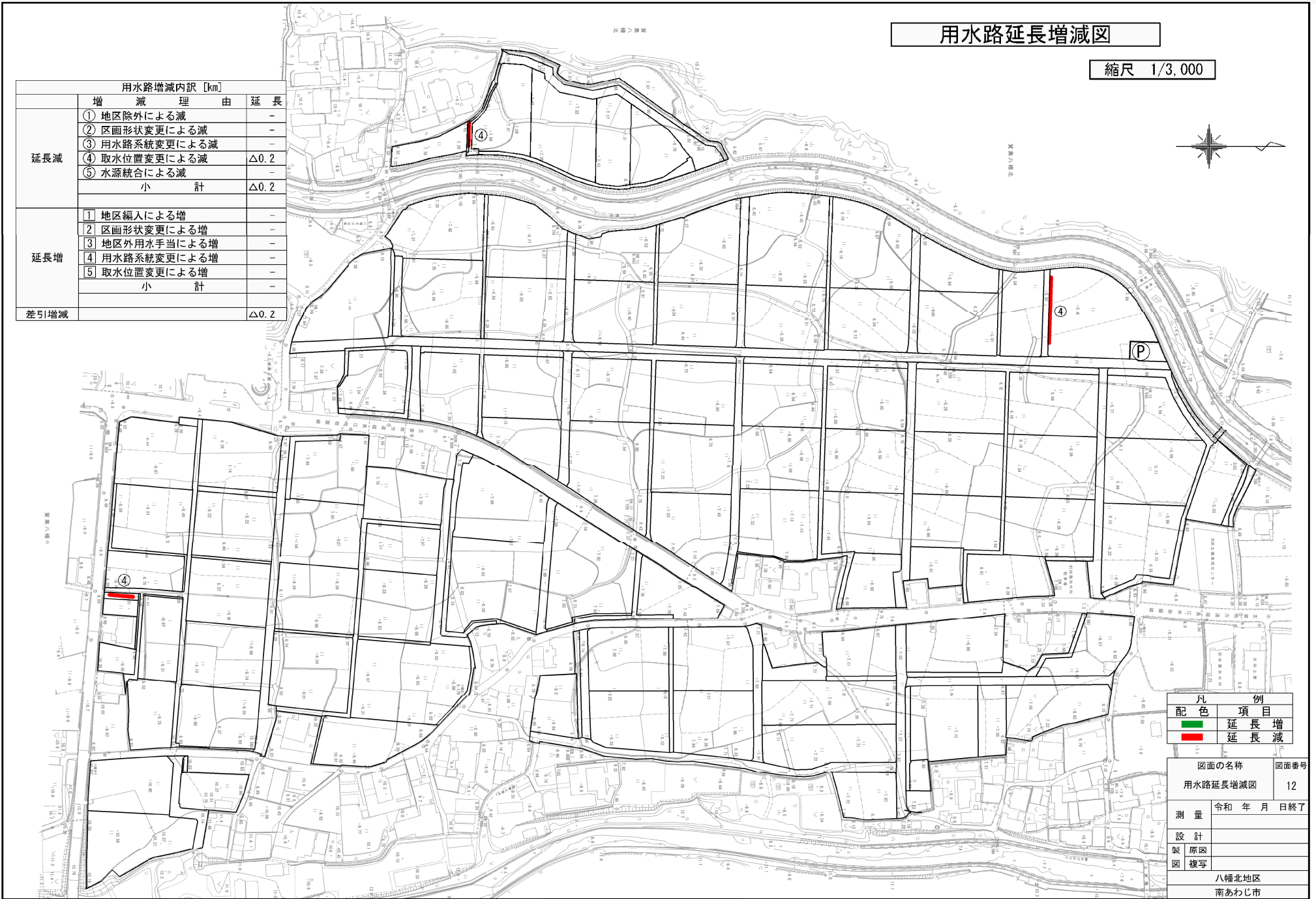
図面の名称	道路延長増減図	図面番号	11
測量	令和 年 月 日終了		
設計			
製図	原図		
図	複写		
八幡北地区 南あわじ市			

用水路延長増減図

縮尺 1/3,000



用水路増減内訳 [km]			
	増	減	理由
延長減	①	-	地区除外による減
	②	-	区画形状変更による減
	③	-	用水路系統変更による減
	④	△0.2	取水位置変更による減
	⑤	-	水源統合による減
	小計	△0.2	
延長増	①	-	地区編入による増
	②	-	区画形状変更による増
	③	-	地区外用水手当による増
	④	-	用水路系統変更による増
	⑤	-	取水位置変更による増
	小計		
差引増減		△0.2	

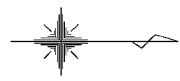


凡例	項目
■ (Red)	延長増
■ (Green)	延長減

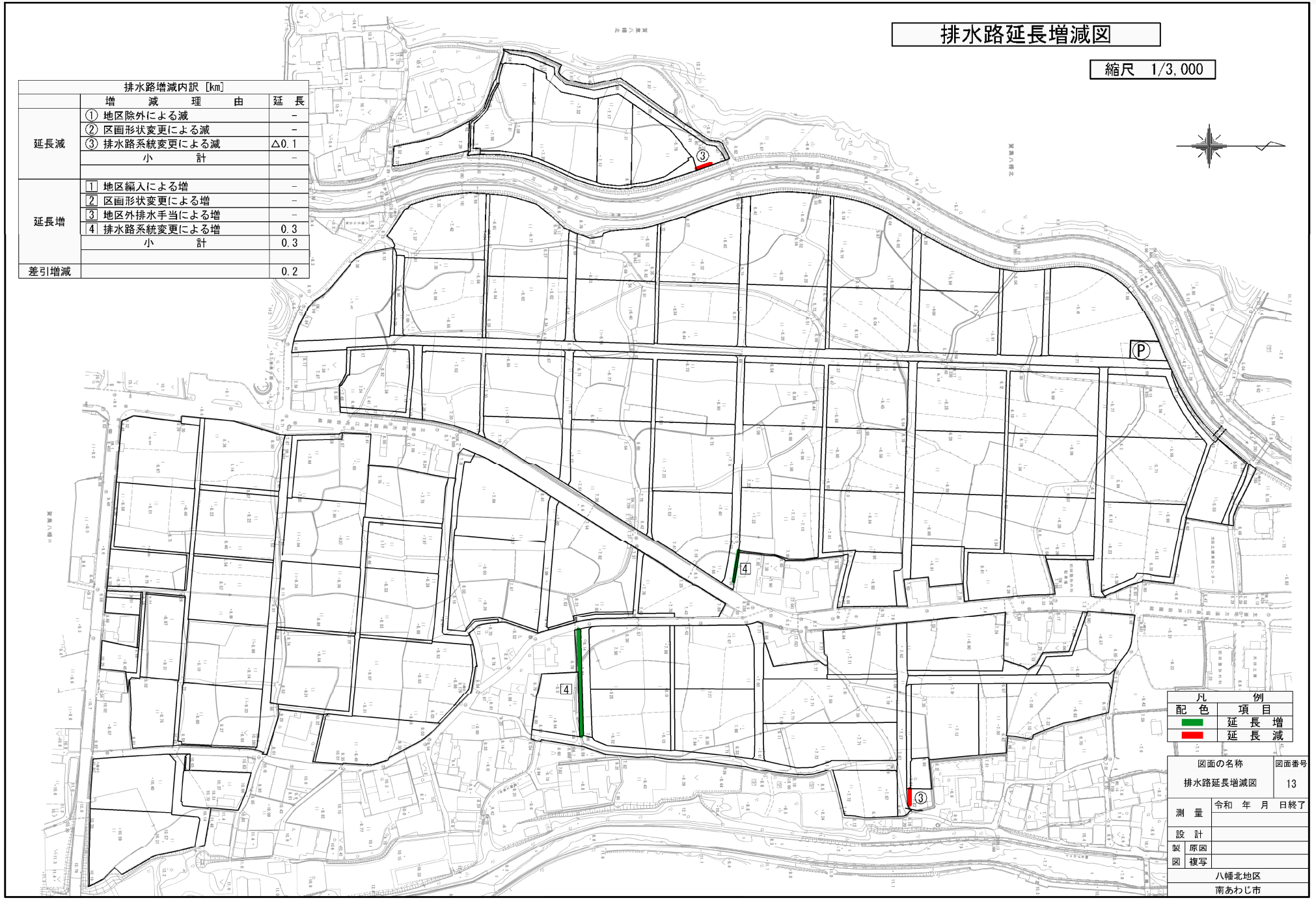
図面の名称	用水路延長増減図	図面番号	12
測量	令和 年 月 日終了		
設計			
製図	原図		
図	複写		
八幡北地区 南あわじ市			

排水路延長増減図

縮尺 1/3,000



排水路増減内訳 [km]			
	増	減	理由
延長減	①		地区除外による減
	②		区画形状変更による減
	③		排水路系統変更による減
		小計	△0.1
延長増	①		地区編入による増
	②		区画形状変更による増
	③		地区外排水手当による増
	④		排水路系統変更による増
		小計	0.3
差引増減			0.2



凡例	項目
■	延長増
■	延長減

図面の名称	排水路延長増減図	図面番号	13
測量	令和 年 月 日終了		
設計			
製図	原図		
図	複写		
八幡北地区 南あわじ市			